

# 令和元年度 第3回飛騨市総合政策審議会

日時：令和元年12月12日午後1:00～  
場所：市役所西庁舎3階 大会議室

1. 開 会

2. 市長挨拶

3. 会長挨拶

4. 協議事項

① 飛騨市総合政策指針（素案）について … 別紙①

② 飛騨市総合政策指針（検証指標）について … 別紙②

③ 令和2年度主要事業の概要（案）について … 別紙③

④ 自由討議

5. そ の 他

6. 閉 会

# 飛騨市総合政策指針（素案）

～ 人口減少先進地が見す 人口減少時代の処方箋 ～  
（令和 2～6 年度）

（第 2 期 飛騨市まち・ひと・しごと創生総合戦略）  
（飛騨市人口ビジョン）

令和元年 12 月 12 日 時点



HIDA CITY  
飛騨市



# 目次

## 第1章 基本方針

1. 趣旨 .....	1
2. 位置づけ .....	2
3. 計画期間 .....	2
4. 策定にあたっての基本的な考え方 .....	2
5. 施策の具体化とその検証 .....	3

## 第2章 現状と課題

1. 人口減少の現実（飛騨市人口ビジョン） .....	4
I 人口推移 .....	4
II 世帯数の推移 .....	6
III 人口動態 .....	6
IV 少子化 .....	9
V まとめ .....	13
2. 各分野の現状と課題 .....	13
I 産業 .....	13
II 観光 .....	15
III 外部交流 .....	16
IV 医療・介護 .....	17
V 生活困窮 .....	18
VI 子育て .....	18
VII 地域・コミュニティ .....	19
VIII 健康 .....	19
IX 教育 .....	20
X まちづくり・社会教育活動 .....	21
XI 歴史・文化・芸術 .....	21
XII 行財政 .....	22

## 第3章 目指す将来像

1. まちの将来像 .....	23
2. 将来像実現のための基本姿勢 .....	25
(1) 対話と協働 .....	25
(2) 交流と連携 .....	26
(3) 挑戦と前進 .....	26

## 第4章 行財政運営の方針

1. 財政の見通し .....	27
2. 財政運営の方針 .....	29
3. 行財政改革 .....	30

## 第5章 政策の方向性

(1) 元気な飛騨市づくり .....	32
I 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち .....	32
II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち .....	33
III 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち .....	36
(2) あんきな飛騨市づくり .....	38
I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち .....	38
II お互いを家族のように思い、支えあえるまち .....	42
III 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち .....	44
(3) 誇りの持てる飛騨市づくり .....	45
I 子ども達の生きる力を地域一体で育む学び豊かなまち .....	45
II 一人ひとりの頑張りを応援し互いに尊敬しあえるまち .....	46
III 豊かな環境と個性ある地域資源を大切にする誇り高いまち .....	47

## 第6章 主な大規模事業

主な大規模事業の見通し .....	50
【附属資料】 用語集 .....	52

# 第 1 章 基本方針

# 第1章 基本方針

## 1. 趣旨

飛騨市は、止まらない人口減少と過疎化、急激に変化する社会情勢に対応するため、第一次総合計画・後期基本計画（平成22年度～26年度）に代え、平成22年2月に「生活重視のまちづくり」を基本理念とし、「市民がいつまでも安心して暮らせるまち飛騨市」を将来像に掲げた飛騨市第2次総合計画（平成22年度～31年度）を策定しました。

飛騨市第2次総合計画を策定した平成21年当時は、「100年に一度の経済危機」と言われる厳しい時代の真ただ中であつたことから、財政の健全化に注力し歳出抑制を図りつつ、市民生活に直結する施設の整備や小中学校の耐震化などの事業を進め、第二次政策総点検により、市民ニーズに合致した政策の実現を図ってきました。

その後10年の間にも本市の人口は減少し続け、更にこれまで予想することが出来なかつた様々な事象が市内各地で起こりました。

例を挙げれば、10年前は介護施設の不足が叫ばれていましたが、現在では介護現場の人手不足により施設が開設できない状況が生まれています。また、製造業においても、採用できていたはずの新卒者が採用できなくなるという現象が起こっています。他方で、女性の社会進出が進み、お子さんが小さい時から未満児保育を利用されるケースが増えたことにより、保育士が不足し、待機児童が発生する危険性もありました。

地域の産業では、人手不足により企業誘致を推進することができず、商店街では人口減に伴う売り上げの減少と高齢化により、店舗の閉鎖が次々と起こっています。

文化の継承では、地域の祭り等、子どもや担い手が不足し、運用の見直しを余儀なくされるなど、これまで人口減少による懸念、危惧として考えていたことが現実のものとなってきました。

この人口減少は最早止めることができない状況である上に、更に加速し今後10年間で4,000人程度減少していくことが見込まれています。本市では、人口減少を正面から受け止めた上で、今後も人口推計通りに人口が減っていくことを前提とし、あらゆる未知の課題に対して柔軟かつ臨機応変に対応し、その上でどういふ豊かなまちづくりができるのかを示す基本的な指針として、この度、飛騨市第2次総合計画の後継となる新たな指針「飛騨市総合政策指針」を策定することとしました。

この指針を道標とし、今一度本市の持つ力、素晴らしさというものを再認識し、市民の暮らしをしっかりと見据えた上で、飛騨市を発展させていきたいと考えています。

---

## 2. 位置づけ

飛騨市総合政策指針は、本市の5年後にありたい姿と、そのために進むべき方向を示す基本的な指針であり、人口減少先進地とも言える本市が、未知の課題に挑戦する姿勢を示したものです。あわせて、今後の財政の見通しを踏まえた行財政運営の基本的な方針を示します。

平成23年8月の地方自治法の改正により、総合計画の策定義務が廃止されましたが、本市では、政策重視の市政運営を図るため、飛騨市第2次総合計画の後継となる本指針を、市の最上位計画として位置づけます。

また、この指針は、「第2期飛騨市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を兼ねる計画として位置付けます。

## 3. 計画期間

本指針の目標とする年度は、約10年後の2030年度を見据えつつ、その前期となる2020年度（令和2年度）から2024年度（令和6年度）の5ヶ年の目指す方向を示します。

## 4. 策定にあたっての基本的な考え方

本指針では、人口減少を正面から受け止めた上で、人口推計通りに人口が減っていくことを前提とし、あらゆる未知の課題に対して柔軟かつ臨機応変に対応し、どういった豊かなまちづくりが出来るかを示します。

従来の計画のように計画期間の具体的な事業を示すものではなく、政策の大きな柱を示し、具体的な事業は毎年度の予算の枠内で組み立てることを基本としながら、「元気であんな誇りの持てるふるさと飛騨市づくり」を政策の基盤として策定しています。

また、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」のコンセプトを分野別の目標としてまとめた「持続可能な開発目標（SDGs）」、国が掲げる「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の考え方を落とし込み、世界の潮流の中での本市の役割や国の政策目標も反映させています。

---

## 5. 施策の具体化とその検証

本指針に示す5箇年の政策の方向性を踏まえながら、毎年次の予算枠を見極めつつ具体の施策を組み立てていきます。

各施策の組み立てにあたっては、市民との様々な対話を通じて得られる生の声を取り入れながら各事業内容を精査するとともに、各分野の代表市民で構成する市の最上位審議会「飛騨市総合政策審議会」において、政策の検討・検証を行うものとします。

## 第2章 現状と課題

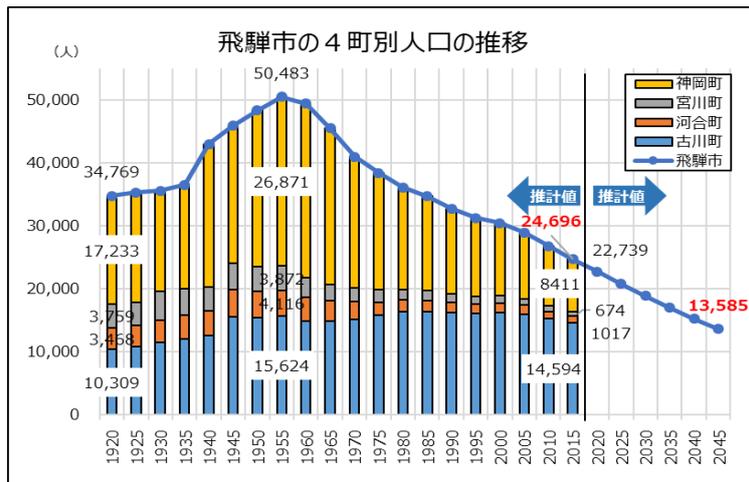
## 第2章 現状と課題

### 1. 人口減少の現実（飛騨市人口ビジョン）

#### I 人口推移

##### （総人口の減少）

飛騨市の人口は、1955年をピークに減少の一途を辿っています。2045年には現在の約24千人より約11千人少ない約13千人へと大きく減少することが予測されており、旧町村単位毎で見ますと、古川町が横ばい推移しているのに対し、神岡町の減少が顕著に現れています。



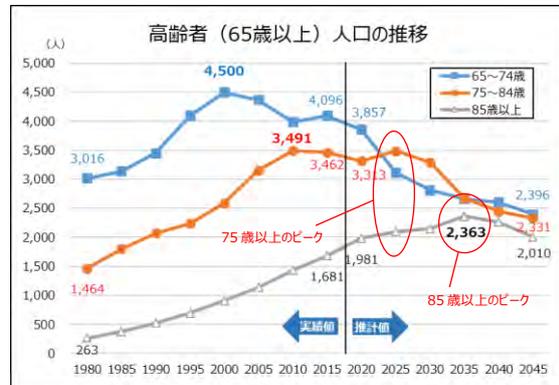
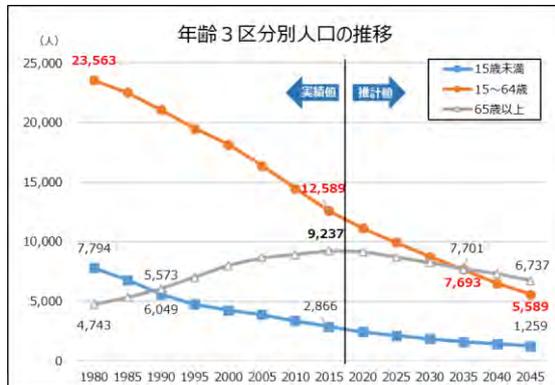
出典：総務省「国勢調査」及び国立社会保障人口問題研究所推計人口（平成30年3月推計）より作成

##### （人口構造の変化）

また、人口構造も大きく変化しています。中でも15歳～64歳の生産年齢人口、いわゆる現役世代の減少が顕著であり、市民生活の様々な場面で既に支障をきたす事例が生じています。

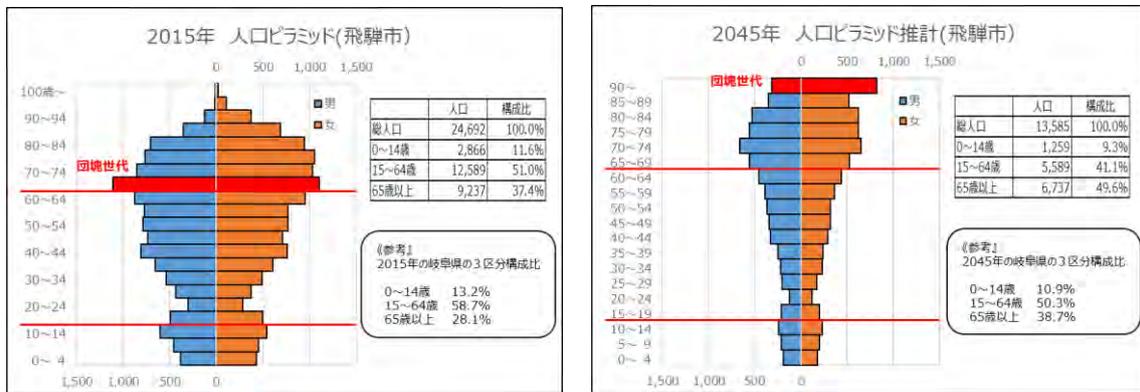
65歳以上の老年人口も、2017年をピークに既に減少を始めていますが、一方、75歳以上のみでは増加を続けており、2025年にピークを迎えます。

また、85歳以上がピークを迎える2035年には、生産年齢人口が老年人口（65歳以上）を下回ることが推測されています。



出典：総務省「国勢調査」及び国立社会保障人口問題研究所推計人口（平成30年3月推計）より作成

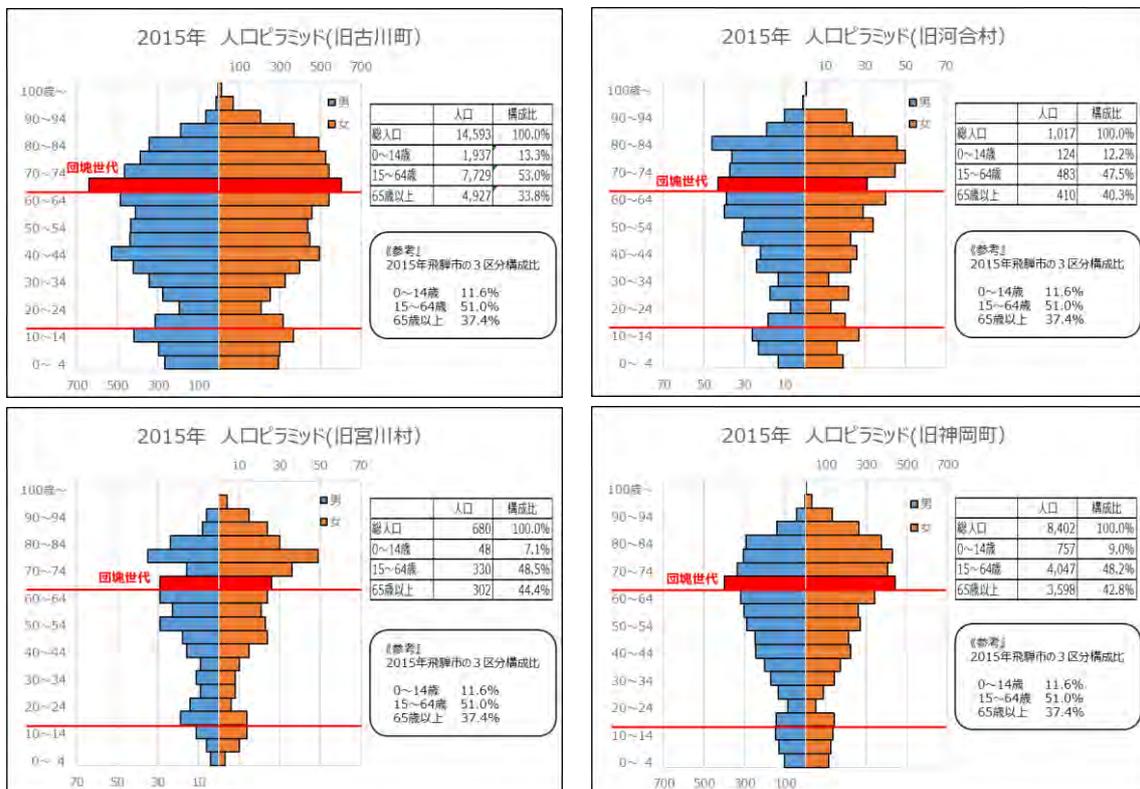
飛騨市の人口ピラミッドは、2000年代まで団塊の世代を中心とした生産年齢人口が多かったのに対し、2015年以降は15歳未満の世代が極端に少ない構造に変化しています。2045年には90歳以上の高齢者が激増することが予想されています。



出典：総務省「国勢調査」及び国立社会保障人口問題研究所推計人口（平成30年3月推計）より作成

### (地域毎の人口構造)

旧町村単位毎では、2015年の人口ピラミッドです。古川町は、団塊の世代である70代に厚みがあるほかは比較的安定した構造となっているのに対し、神岡町は20代が極端に少なく、65歳以上の人口が約4割を占める構造です。また、旧河合村・旧宮川村・旧神岡町では50代以上が6~7割を占める構造となっています。



出典：総務省「国勢調査」

## II 世帯数の推移

### (世帯数の減少)

社会を構成する基礎である世帯数は減少傾向ではあるものの、単独世帯は増加しており、総数として人口ほどの減少はみられません。

2015年時点の一世帯当たりの人員数は、2.84人であり、岐阜県平均の2.78人を上回っている状況です。



出典：総務省「国勢調査」

### (高齢者世帯の増加)

高齢者のみの世帯数は年々増加しており、中でも高齢単身世帯は、この30年間で約4倍にまで増加しています。

県平均と比較した、本市の高齢夫婦・高齢単身世帯数は、非常に多い状況となっています。

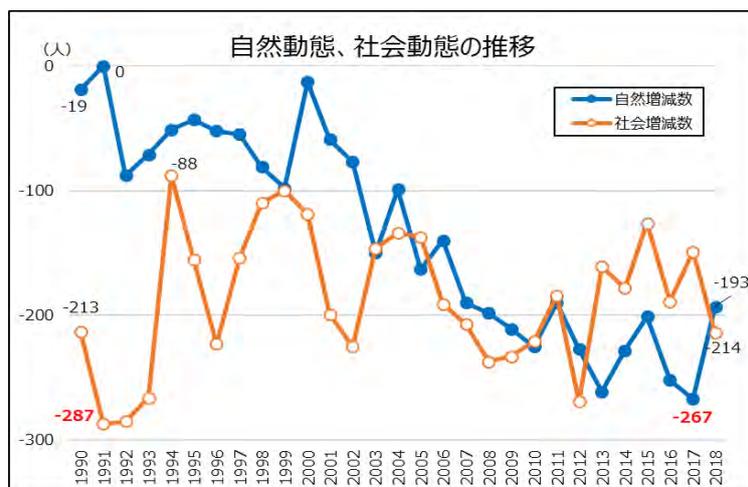


出典：総務省「国勢調査」

## III 人口動態

### (人口動態の推移)

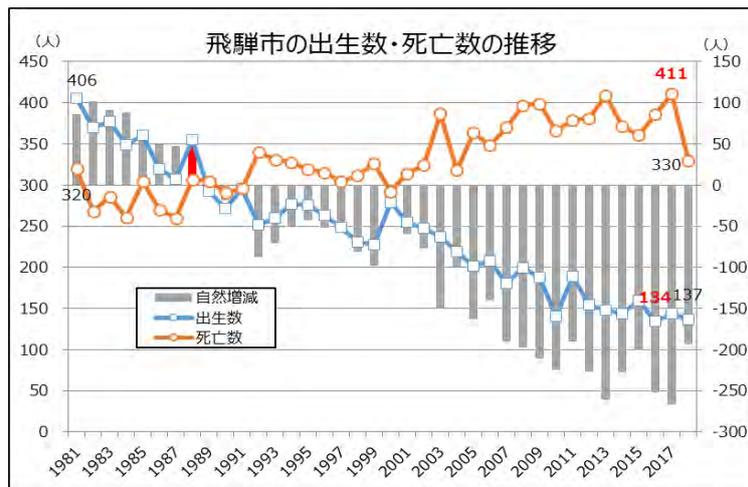
飛騨市の人口動態は、社会動態（転入と転出）は波があるものの、ほぼ横ばいで推移しているのに対し、自然動態（出生と死亡）は減少の一途を辿っています。



出典：自然動態（厚生労働省「人口動態統計」（1月～12月の1年間、日本人））、2018年のみ飛騨市市民福祉部市民保健課調べ（参考）社会動態（岐阜県人口動態調査（前年10月～当該年9月までの1年間の移動（外国人を含む））

### (死亡数の増加)

自然動態は、1988 年を最後に死亡数が出生数を上回る状態、いわゆる自然減が続いており、その減少数は年々増加しています。出生数は 2016 年に過去最低、死亡数は、2017 年に過去最高を記録しており、今後も高齢者の増加が見込まれていることから、自然減が今後益々増加することが予測されます。



出典：厚生労働省「人口動態統計」（1月～12月の1年間、日本人）  
2018年のみ飛騨市市民保健課調べ（参考）

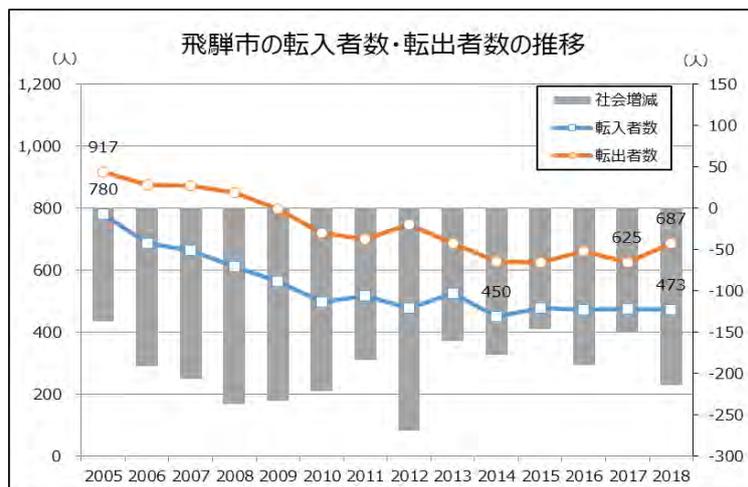
### (若者の県外流出)

社会動態は、転入・転出とも人口減少に伴って減少傾向で推移しています。しかし、転入・転出とも同傾向が続いていることから、社会減自体は横ばいの状況で推移しています。

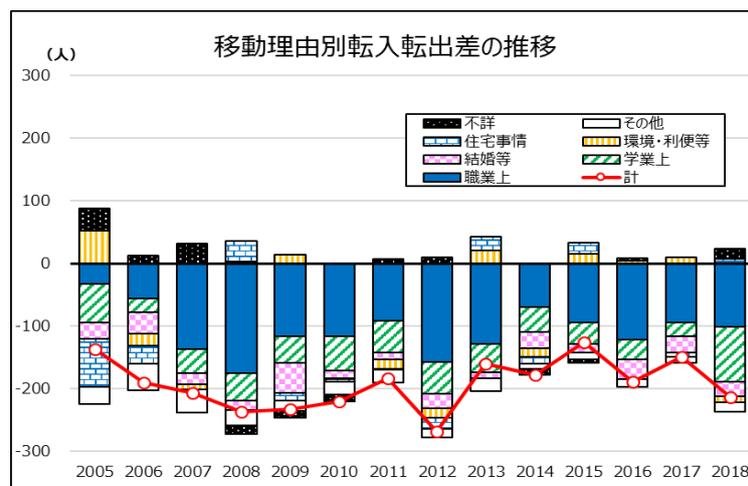
移動理由別の転入転出差の推移では、2007年以降、職業上・学業上を理由とした転出が大半を占めています。

平成 29 年 10 月から平成 30 年 9 月移動分の職業上の理由による転出は、20 代が最も多く、中でも女性の転出が非常に顕著です。

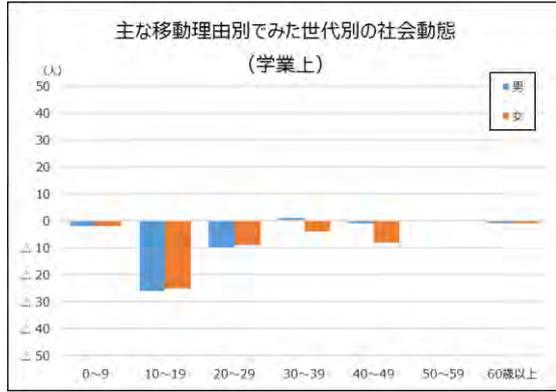
学業上の理由による転出は、10 代が最も多く、高校卒業後の進学による転出が原因です。



出典：岐阜県人口動態統計調査（前年 10 月～当該年 9 月までの 1 年間の移動（外国人を含む））



出典：岐阜県人口動態統計調査（前年 10 月～当該年 9 月までの 1 年間の移動（外国人を含む））

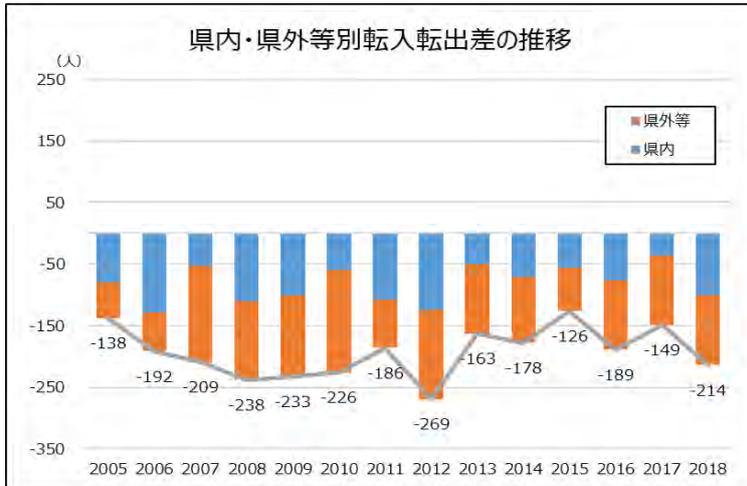


出典：岐阜県人口動態統計調査（平成 29 年 10 月から平成 30 年 9 月移動分）

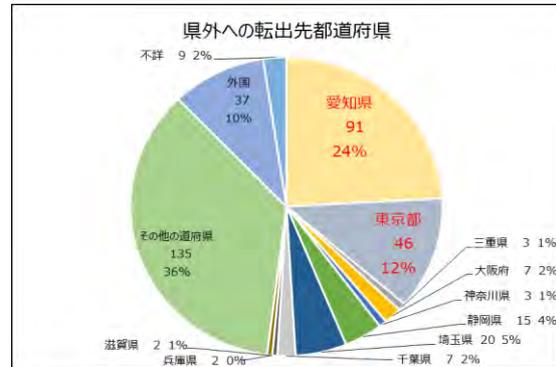
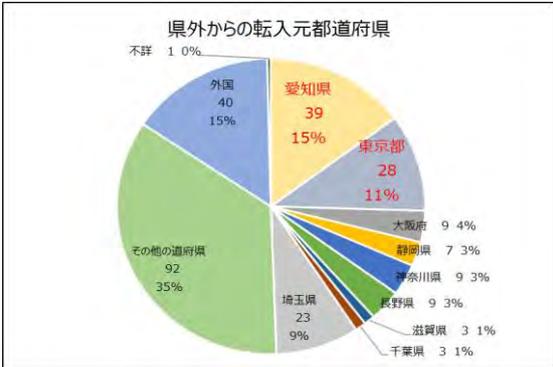
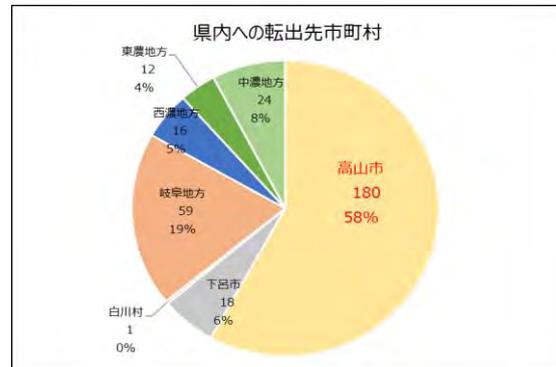
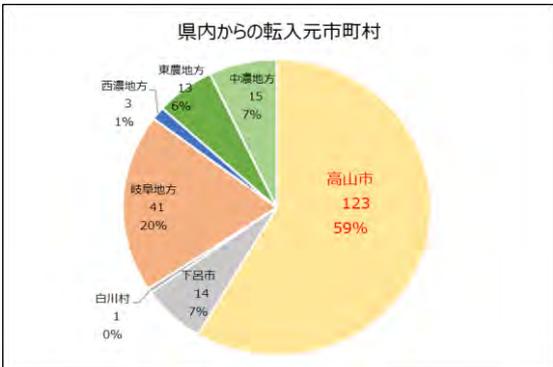
**(転出先は東海・関東)**

転入元・転出先の県内外別では、2007 年以降、県内に比べ県外等へ転出する方が増加しています。

2018 年の転入元・転入先内訳では、県内では高山市が約 6 割と最も多く、県外では愛知県、東京都が多くを占めています。



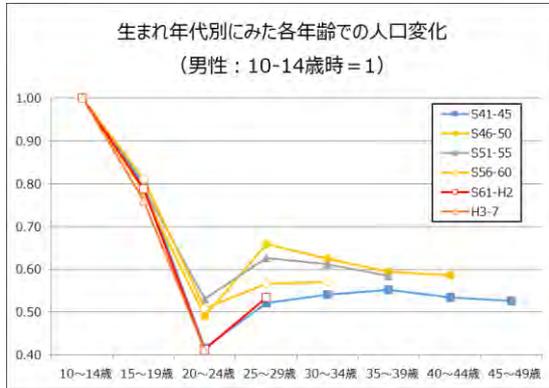
出典：岐阜県人口動態統計調査（前年 10 月～当該年 9 月までの 1 年間の移動（外国人を含む））



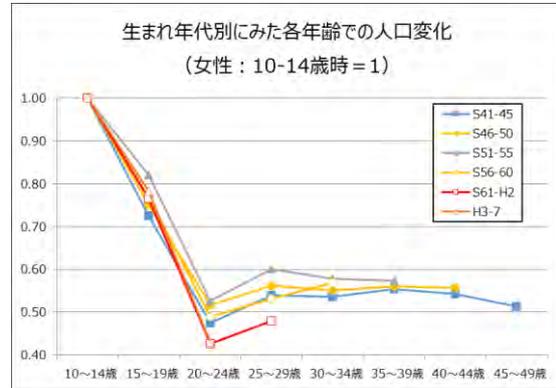
出典：岐阜県人口動態統計調査（平成 29 年 10 月から平成 30 年 9 月移動分）

### (Uターン数の減少)

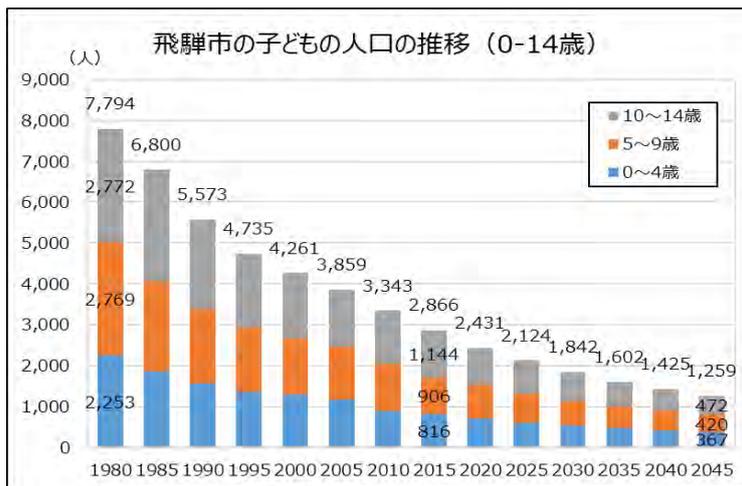
生まれ年代別にみた人口変化では、10代後半の進学等による転出で人口は約半数に落ち込みます。20代後半には多少飛騨市に帰郷することで回復するものの、その後は少しずつ減少していきます。近年では、昭和後半から平成初期生まれの年代で、人口の約5割が減少しています。



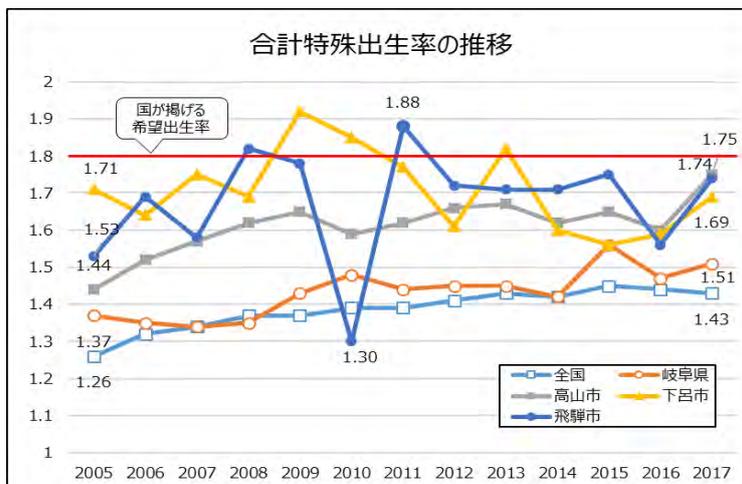
出典：総務省「国勢調査」



## IV 少子化



出典：総務省「国勢調査」及び国立社会保障人口問題研究所推計人口（平成30年3月推計）より作成



出典：岐阜県「飛騨地域の公衆衛生」

### (少子化の進行)

飛騨市の14歳以下の人口は年々減少を続けており、2045年には2015年の半数以下になると推計されています。

この少子化の進行には、大きく分けて三つの要因があることが考えられます。

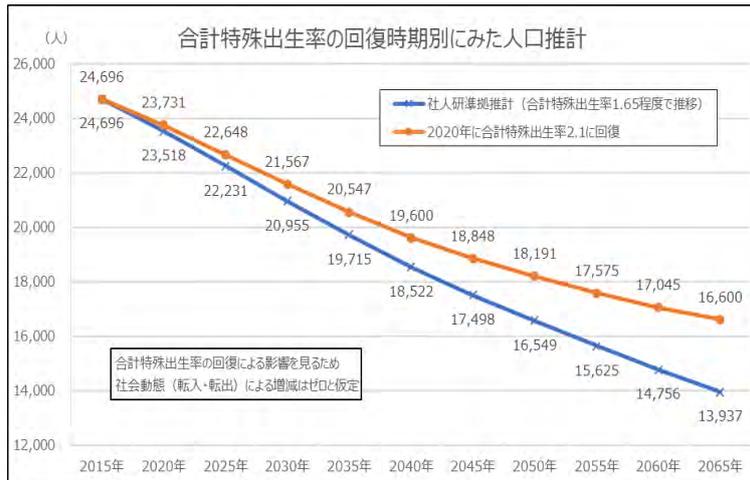
### (母世代の女性人口の減少)

まず、飛騨市の合計特殊出生率は、2010年に一度落ち込んだものの、2017年には1.74に回復しています。

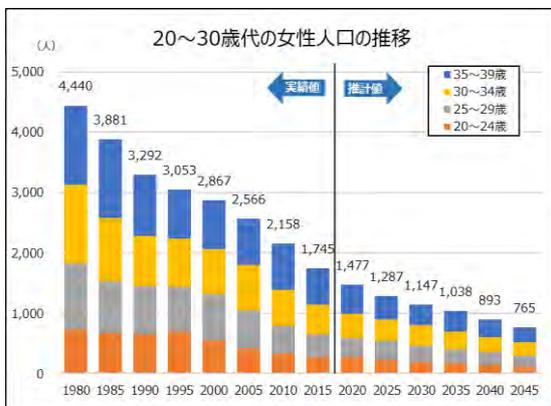
仮に、社会動態による増減をゼロと仮定した上で、合計特殊出生率が2020年に人口置換水準※の2.1に回復したとしても、2045年には約6,000人減少し、その後も人口は減り続けると推測されます。

※人口規模が維持される水準

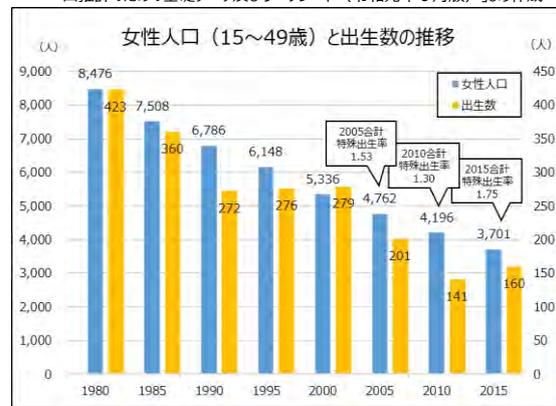
このように合計特殊出生率が回復し、高い水準を維持しても、人口が減っていく要因は、長く続いた少子化により、母となる女性の人口が減っていることが原因です。中でも、20代から30代の女性の人口は、今後も減少することが見込まれており、あわせて子どもの数も減少していくことが予想されます。



出典：内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局提供の「人口動向分析・将来人口推計のための基礎データ及びワークシート（令和元年6月版）」より作成



出典：総務省「国勢調査」及び国立社会保障人口問題研究所推計人口（平成30年3月推計）より作成



### (未婚者の増加)

二つ目の原因は未婚者の増加です。近年では未婚率が上昇しており、婚姻数が出生率と相関関係にあることが統計からも読み取ることができます。

飛騨市の生涯未婚率（50歳になった時点で一度も結婚したことがない方の割合）の推移では、男女ともに2005年以降急激に上昇しており、男性では5人に1人、女性では13人に1人が生涯未婚となっており、将来、更に高齢の一人暮らしが増える可能性があります。

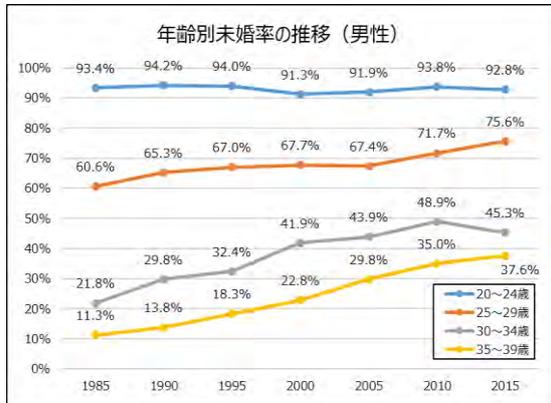


出典：総務省「国勢調査」

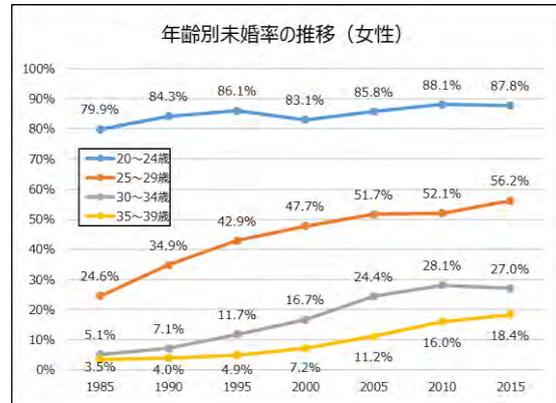


出典：岐阜県「飛騨地域の公衆衛生」

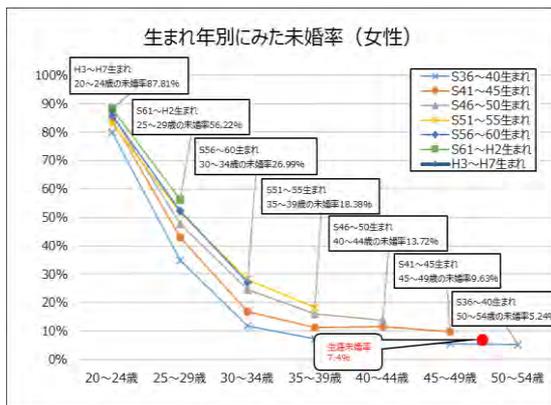
年齢別の未婚率では、特に若い世代の未婚率が上昇しており、男性では 35 歳から 39 歳、女性では 25 歳から 29 歳の未婚率の上昇が大きく左右しています。30 代前半で見ると、男性は約半数、女性は約 3 割が未婚です。



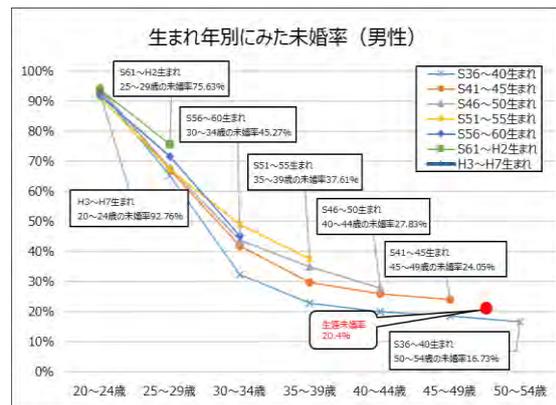
出典：総務省「国勢調査」



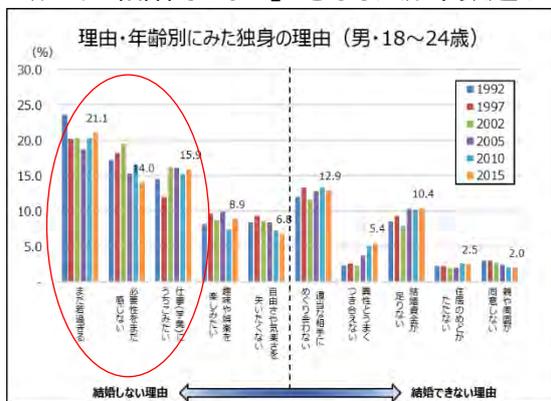
生まれた年代別では、昭和後半から平成生まれの方達の未婚率が上昇傾向にあります。また、40 歳を過ぎると未婚率はほぼ下がらなくなります。



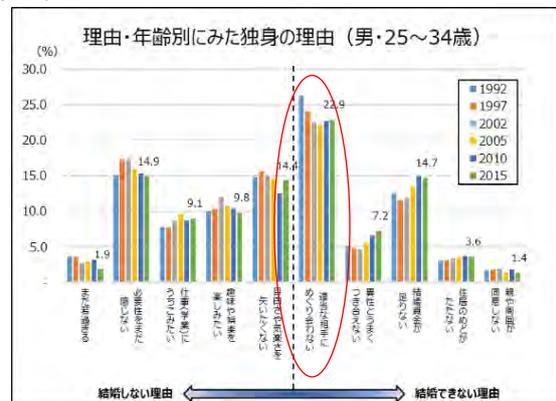
出典：総務省「国勢調査」

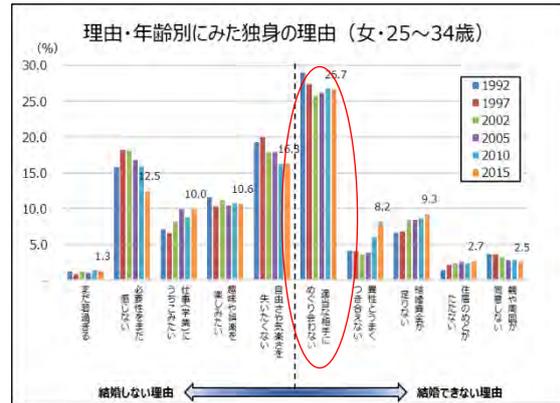
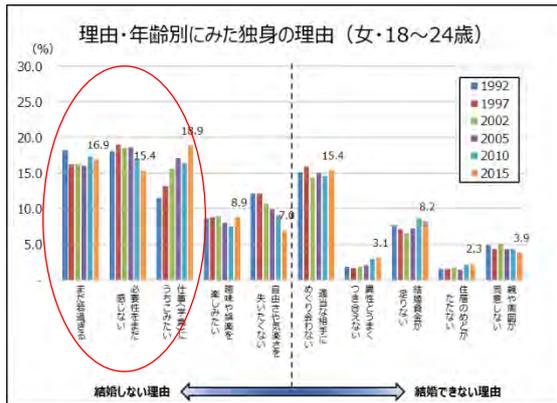


独身の理由について、全国調査による男女・年齢別の統計では、男女ともに 20 代前半までは結婚するための積極的な動機を感じていないのに対し、20 代後半以降になると、適当な相手が見つからず「結婚できない」と感じる人が半数近くになります。



出典：国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査・第 15 回 (2015 年調査)」





出典：国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査・第15回（2015年調査）」

**（平均初婚年齢が30代に）**

三つ目の要因は、晩婚化・晩産化です。

結婚年齢が高くなる、いわゆる晩婚化については、本市でも平均初婚年齢が近年上昇傾向にあり、女性では2017年に初めて30代に突入しました。全国的な統計によると、晩婚が進むと、子どもの数は減少するという傾向があります。



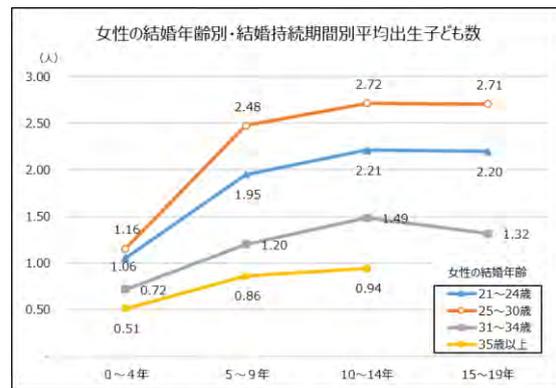
出典：岐阜県衛生年報

**（出産年齢は30歳以上）**

本市の子ども出産時の母の年齢は、年々上昇傾向にあり、第1子以降の出産年齢は、近年では30歳を超えるなど、晩産化が進んでいます。

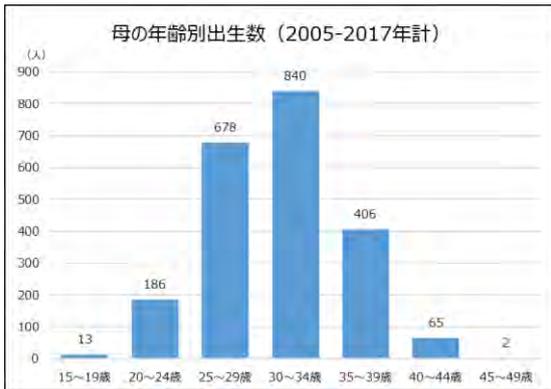


出典：国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査・第15回（2015年調査）」

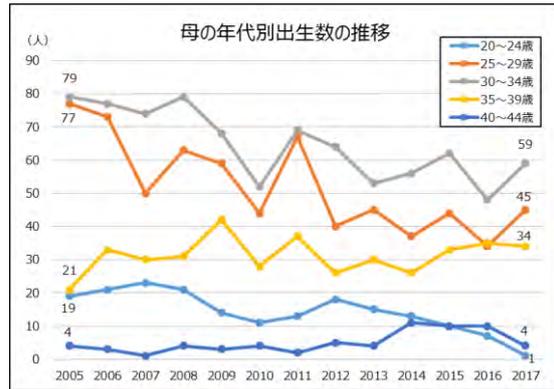


出典：岐阜県衛生年報

本市において、最も子どもが多く生まれている母親の年代は、30歳から34歳です。その後は急激に減少していきます。また、20代の出生数も年々減少しています。



出典：岐阜県「飛騨地域の公衆衛生」



## V まとめ

これまで述べてきたように、本市は全国の人口減少の 20～30 年先を進む「人口減少先進地」です。

人口減少による影響として、増加する高齢者を支える世代の減少とともに、所得を稼ぎ消費し納税する世代の減少、医療・介護保険の給付費の増加が見込まれます。あわせて、高齢単身世帯の増加に伴い、高齢者の見守り体制の整備や地域コミュニティの維持が課題として現れてきます。

人口減少の最大の要因は、2005 年以降の未婚者の増加と晩婚化であり、既に母親世代の人口減少が進行していることから、出生率を上げれば即座に解決するものではなく、今後数十年に渡り止まることはありませんし、この減少幅は移住・定住政策による転入超過だけで補えるものでもありません。また、こうした現象は、人のマインドと社会の変化によるところが大きく左右し、このトレンドを変えることは非常に時間がかかります。

このことから、人口減少を止めようとするのは不可能であり、即効性のある対策も秘策もありえないことから、現実を見据え人口減少を真正面から受け止めた上で、少しでもその減少スピードを緩やかにするための「積極戦略」と、次々と出てくる新たな課題に臨機応変に迅速に対応する「適応戦略」の両輪が不可欠であると考えます。

## 2. 各分野の現状と課題

### I 産業

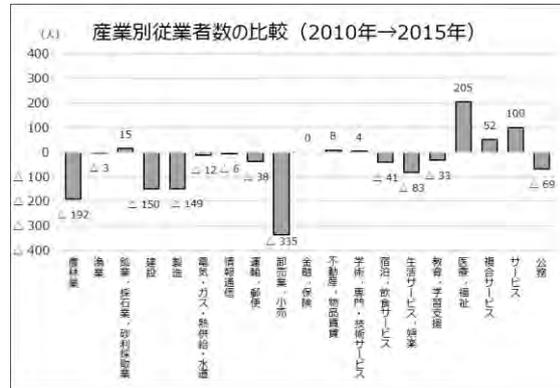
人口減少を要因とする産業の人手不足は、ここ近年急速に進行し、主要産業である製造業を始め、あらゆる産業に影響を与えています。

本市独自の調査では、常時約 250 人の人手不足が明らかになっており、「新たな企業の誘致」から「既存企業の支援」に軸足を置いた政策への転換が必要になりました。

このような状況の中、まずは製造業の人手不足を解消するため、外国人技能実習生等への就職奨励金や生活支援を柱とした外国人材の確保・育成など、総人口に占める外国人が県内で最も少ないからこそ出来る、きめ細やかで手厚い施策を重層的に講じるとともに、平行して企業が継続して人材確保を実施できるよう、PR 技術の向上を図りましたが、依然として、製造業、建設業の人材不足が顕著に表れています。



出典：総務省「国勢調査」



出典：総務省「国勢調査」 ※産業大分類「分類不能の産業」を除いて算出。

就業者数の状況については、1985年と2015年を比較すると、若者世代は減少していますが、60歳以上のシニア世代の就業が増えてきています。こうした流れを捉えつつ、就業の支援を検討していく必要があります。

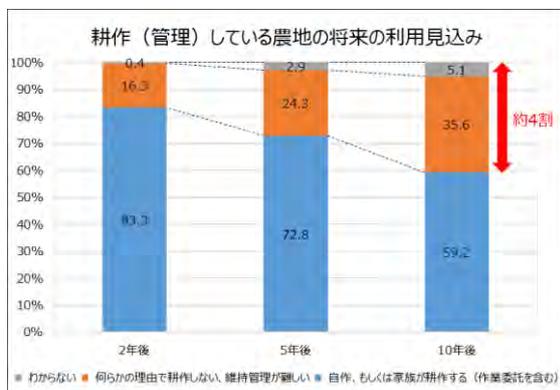


出典：総務省「国勢調査」



出典：国勢調査

農業の分野では、平成28年度に実施した「将来の農地利用に関するアンケート」によりますと、10年後に現在の農地を何等かの理由により耕作しない、わからないと答えた方が約4割を占めており、今後ますます耕放棄地が増えることが予想されることから、担い手への集約とあわせ、新たな担い手の確保・育成が課題となっています。



出典：飛騨市農林部農業振興課「将来の農地利用に関するアンケート H28」

## II 観光

本市の重要な産業の一つである観光は、平成14年のNHK連続テレビ小説「さくら」の公開以降、入込客数は減少傾向にありましたが、平成28年の映画「君の名は。」の公開により、聖地巡礼者が増えたことで増加に転じました。

しかし、2017年の観光消費額単価では、全国平均、県平均と比較しますと、非常に低いのが現状です。

このことは、本市の宿泊施設のキャパシティが少ないこと、また、飲食の訴求が弱いことが原因であると考えられます。

今後は、いかに飛騨市でお金を落としてもらうか、そのためには、いかに滞在時間を延ばし、いかに魅力的な市特産品を作り上げ売り込むことができるかが課題と言えます。

一方で、近年では、市街地の空き家を改修したゲストハウスが増えており、こうしたゲストハウスがインバウンドの受け皿になってきていることから、更なる振興を図る必要があります。



出典：飛騨市商工観光部観光課調べ



出典：飛騨市商工観光部観光課調べ



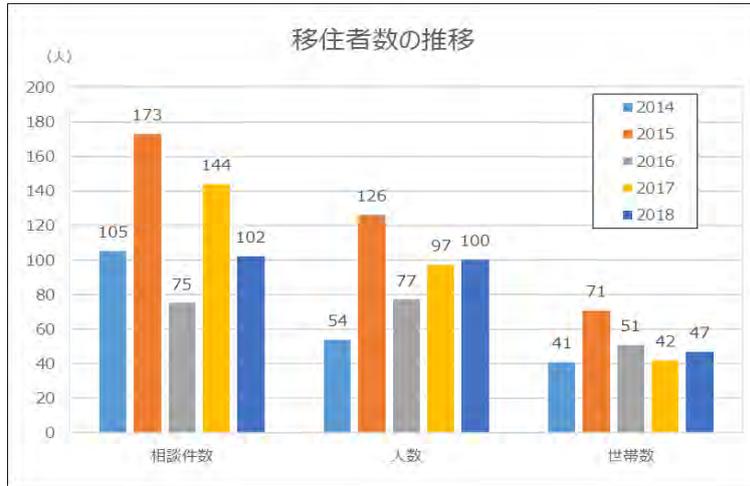
出典：飛騨市商工観光部観光課調べ

### Ⅲ 外部交流

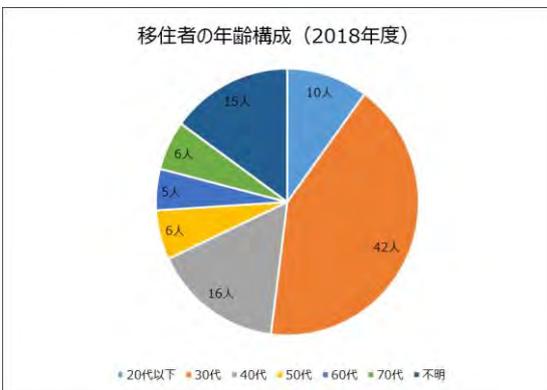
人口減少は今後数十年に渡り止まることはないといこれまで述べてきましたが、少しでも減少スピードを緩やかにする施策は必要であると考えています。

その中で、転入者数をいかに増やすかという点において、移住者数の推移を見ますと、本市の移住定住支援策を活用して移住された方の人数は、ここ近年増加傾向にあり、その内訳を見ますと、年齢では特に30代、地域では関東圏からの移住者が多いという特徴があります。

こうして移住される方は、地域における自治会や祭りなどの担い手にも大変重要な役割を担われるなどインパクトが大きいことから、今後もこうした移住者へ飛騨市を移住地として選んでもらえるよう、PRを強化し、生活面での支援策を充実させる必要があります。



出典：飛騨市企画部地域振興課調べ



出典：飛騨市企画部地域振興課調べ



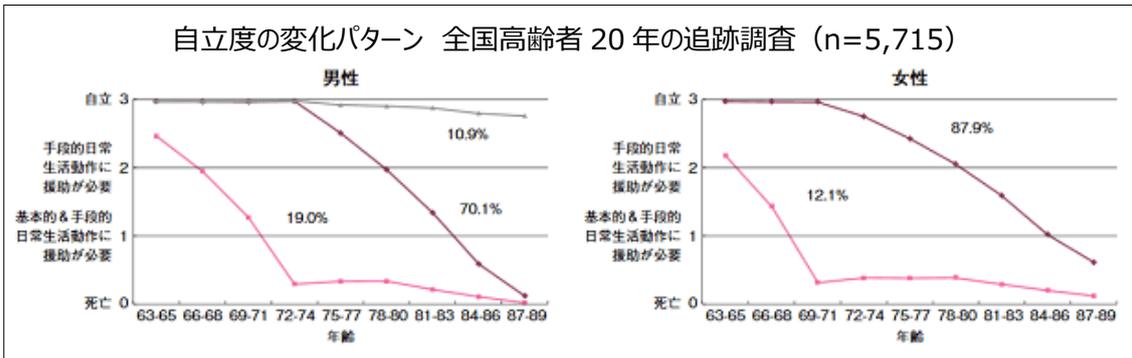
また、移住される方だけでなく、近年では、移住しないまでも地域のまちづくりに積極的に関わる「関係人口」の活用が重要視されており、国が策定する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも重要な施策として位置付けられています。

本市においては、「飛騨市ファンクラブ」という関係人口を活用した事業を全国に先駆けて実施しており、多くの会員獲得と会員相互の交流や飛騨市民との交流を図ってきました。

今後はこうした関係人口を更に拡大させるとともに、まちづくりに積極的に関わってもらえる仕組みの構築が必要になります。

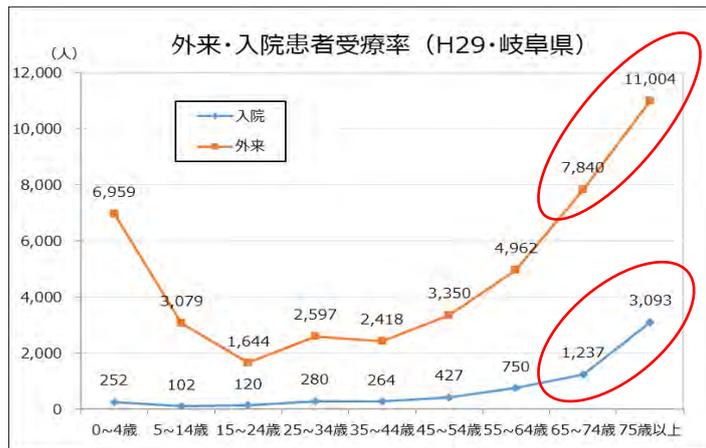
## IV 医療・介護

本市における医療・介護の需要は、75歳以上の高齢者の増加に伴い現在も増加傾向にあります。75歳以上の医療・介護の必要性については、高齢社会総合研究の第一人者である秋山弘子氏（東京大学高齢社会総合研究機構特任教授）が、高齢者の加齢に伴う生活の変化を調査した結果からも、男女合わせて約8割の高齢者が、75歳頃から徐々に衰え始め、何らかの支援が必要になることがわかっています。



出典：秋山弘子 長寿時代の化学と社会の構想「科学」岩波書店、2010より

一方、医療にかかる患者数や、介護における認定者数を見ても、平成29年の岐阜県の外来・入院患者受療率では、医療を要する方が65歳から急増することが明らかになっています。また、入院患者は75歳以上で大幅に増加することも統計の数字からわかります。



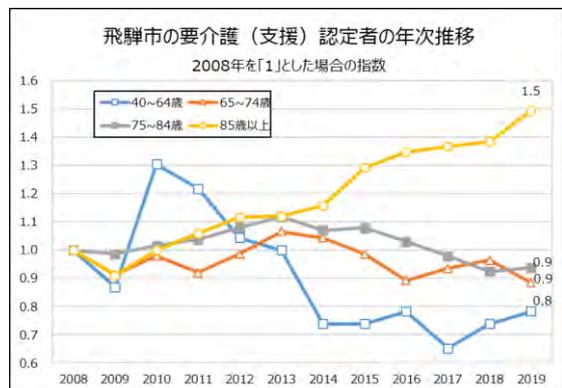
出典：厚生労働省「平成29年患者調査」(人口10万対) (病院+一般診療所、患者住所地による)

介護における要介護（要支援）認定者数は、40歳から

84歳までが微減であるのに対し、85歳以上が急激に伸びています。このことから、本市の75歳以上人口のピークが2025年であることから、医療・介護費の増加が課題となります。



出典：飛騨市市民福祉部地域包括ケア課調べ ※各年10月1日現在、2019年の数値のみ4月1日現在



## V 生活困窮

本市の生活困窮にかかる相談件数は年々増加しており、その内容も多様となっています。中でも障がい者等の就労やひきこもりの件数が多く、また、その内容も既に困窮している方よりも、将来的な困窮リスクを心配される方の相談が増加していることから、困窮に陥る前のセーフティネットの重要性が高くなっています。

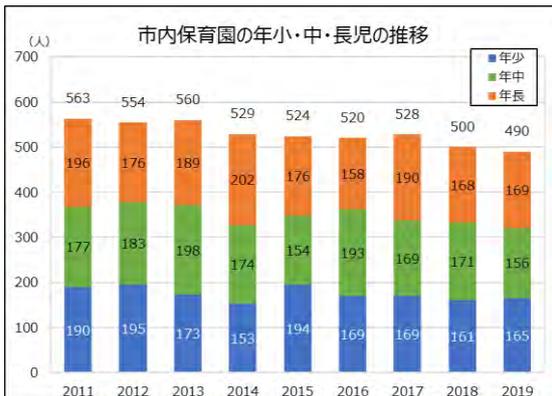
こうした支援には、社会へ出るきっかけから地域での受入先までの道のりを段階的に進んでいける寄り添った支援体制の整備に加え、専門的な知識や経験を持った支援事業所や、医療面からのサポートの必要性などについても検討していく必要があります。

年度別新規相談件数	2015	2016	2017	2018	2019
就労（障がい等を抱える方）	2	3	9	1	2
就労（その他）	3	8	6	11	2
多重債務	5	5	3	3	2
家計管理	0	5	5	11	7
ひきこもり	0	1	9	13	4
その他生活不安等	0	5	9	11	7
合計	10	27	41	50	24

出典：飛騨市市民福祉部地域包括ケア課調べ ※2019年の数値のみ9月1日現在

## VI 子育て

市内保育園の児童数は、子ども全体の数の減少により減少していますが、他方で、生産年齢人口の減少による人手不足の影響から、子どもが就園前の未満児からの保育を希望される数が増加しています。また、休日・祝日保育や病児・病後児保育など、保育にかかるニーズは、毎年多様化し、これらに対応する保育士が不足しており、その確保策を検討していく必要があります。



出典：飛騨市市民福祉部子育て応援課調べ



また、平成30年度に市が実施した子育てニーズ調査などから、子育て世代が市内で安心して遊べる場所が少なく、市外や県外へ出て遊んでいるという声が寄せられており、市内における小さなお子さんたちの遊び場の整備が求められています。

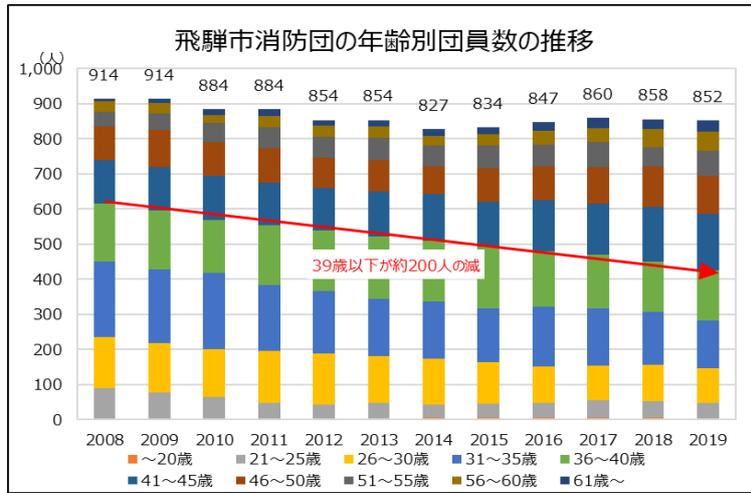
## VII 地域・コミュニティ

人口減少の進行により、地域における自治会活動や祭の参加など、「地域のつながり」が弱くなっています。

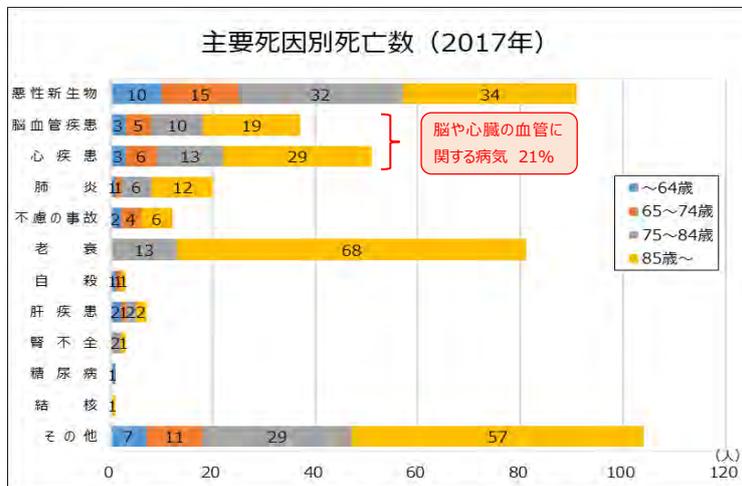
例えば、地域の担い手不足により、これまで助け合いで行われていた除雪作業や災害時の避難等について支障が出たり、祭の担い手不足により、これまで実施できていた行事が出来なくなるなど、実際の地域活動に支障を来しています。また、地

域の防災活動を担う消防団も、現状では団員数は概ね横ばいではあるものの、2008年から比較すると、39歳以下の消防団員数が約200人減少するなど、高齢化が進んでいます。

今後も、こうした地域の自立的な活動が更に弱体化する恐れがあることから、市民全員でお互いを支えあうコミュニティの形成が重要になります。



## VIII 健康



飛騨市民の健康状態の特徴として、脳や心臓の血管に関係する病気、すなわち、脳梗塞、脳出血、心筋梗塞等による死亡が、死因別死亡数の約2割を占めることが挙げられます。

平成30年度の国民健康保険特定健診の結果では、こうした疾患のリスク要因が高い指標である高血圧、高尿酸値、高血糖値の値が高い市民が非常

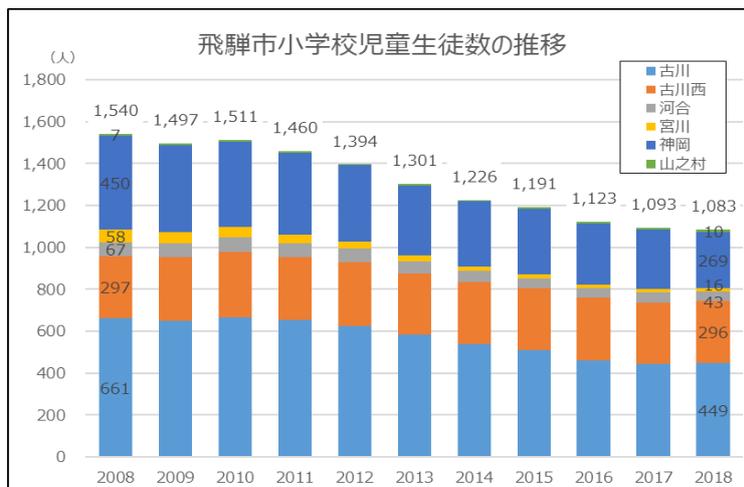
に多く、受診者に対する割合で見ると県内でも全てワースト上位に位置しています。中でも高血圧（160以上/100以上）は受診者の9.2%が該当し、県内ワースト1位という結果です。

これらは塩分の取り過ぎによるものが原因であり、これまでも様々な場面で減塩を呼び掛けていますが、今後は様々な世代での減塩習慣の定着に向けた取り組みが重要となります。

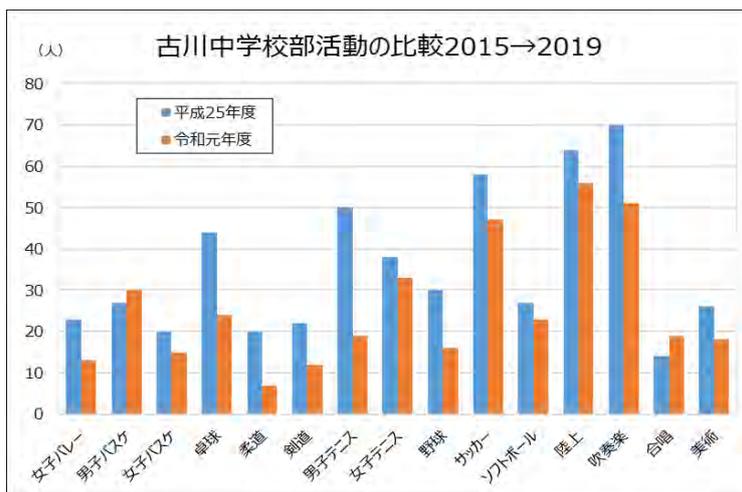
## IX 教育

市内小学校児童生徒数は、人口減少に伴い減少の一途をたどっています。

このことは、小規模校と大規模校による授業手法の違いや、直接経験する人間関係の減少、部活動の再編や他の学校との合同練習、そして、これらに起因する教員の負担増やICT教育など新しい教育体制への対応や学校施設の改修など、様々な課題に直結しています。



出典：飛騨市教育委員会学校教育課調べ



出典：飛騨市教育委員会学校教育課調べ

あわせて、およそ10年ごとに改訂されて、小学校では令和2年度から完全実施される新学習指導要領では、10年から20年後には現在の約半分の職業が自動化される（人手がいなくなる）と言われる予測困難な時代の中で、何が重要かを主体的に判断できることや、多様な人々と協働していくことができること、そして、新たな価値を創造していくとともに新たな問題の

発見・解決につなげることができることなどといった、変化の中で生きていく力がポイントとされています。実際、一般社団法人日本経済団体連合会が調査した高等教育に関するアンケートの中でも、産業界が期待する資質・能力・知識では、「主体性」、「行動力」、「課題設定・解決能力」が上位を占めています。

このように、自ら課題を見付け、自ら学び考え、何が重要かを主体的に判断して行動できる力を学校だけでなく、地域全体で育てていく教育が求められています。

## X まちづくり・社会教育活動

本市における社会教育活動は、市が主催する各種講座と、市民が自主的に講座を開講する自主講座があります。

年間を通したプログラムで、2019年度9月までの集計では、延べ2,048人が参加され、しかも約95%が女性です。

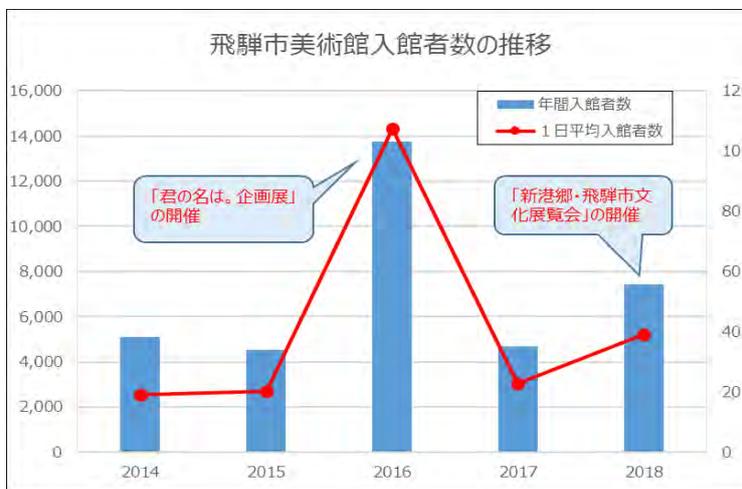
このように生涯に渡って学ぶことのできる環境は、市民の生きがいや生活の質を高める上でとても重要な要素であり、こうした

活動を市民それぞれがお互いに認め合える仕組みが重要です。また、今後は男性の参画を促進することや、普段飛騨市では学べないようなアカデミックな講座等を、体系立てて受講できる仕組みの構築等が必要であると考えています。



出典：飛騨市教育委員会生涯学習課調べ

## XI 歴史・文化・芸術



出典：飛騨市教育委員会文化振興課調べ

歴史や文化、芸術に関する施策は、全て市民の市に対する愛着・誇りを高める重要な取り組みです。

歴史分野においては、既に市内の2城館群の活用・発掘に着手しており、国内外に誇ることで重要な文化財として、更なる事業の推進が求められています。

伝統文化の分野では、人口減少による祭りの担い手不足により、獅子舞や子供歌舞伎などが既に披露できないという状況が出てきていますが、他地区の若者が引き継ぐなど、新たな動きが出てきているところもあり、こうした活動を支援していくことが重要であると考えます。

芸術分野では、飛騨市美術館の入館者数からも、市民の芸術等に対する関心度は年々高まっており、こうした市民が音楽や芸術に気軽に触れることのできる環境を整える必要があるとともに、市民自身が芸術活動を行い、広く公開できるような環境整備も必要であると考えています。

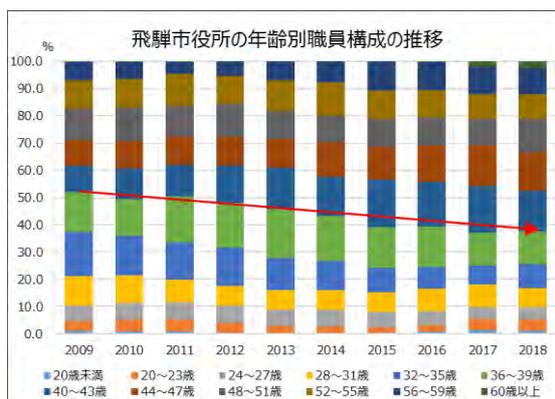
## XII 行財政

本市では、飛騨市第三次行政改革（平成26年～30年）において、健全財政に向けた取り組みを実施してきました。中でも、職員数は第二次定員適正化計画に沿った職員の適正化を進め、行政の効率化を図るとともに、職員の資質向上については、人事評価制度を5年間の試行を経て平成26年度から本格導入しました。

しかし、職員の高齢化が進み、今後、人件費の増加が予測されるとともに、熟練職員の退職により、地域の実情を詳しく知る職員の減少が懸念されるほか、建設や水道、建築など専門技術職の減少が懸念されています。



出典：飛騨市総務部総務課調べ



出典：総務省「地方公務員給与実態調査」

## 第3章 目指す将来像

---

## 第3章 目指す将来像

---

### 1. まちの将来像

第2章で述べたように、当面人口減少を止めることは不可能であり、即効性のある対策も秘策もありません。

人口減少の現実を直視し、正面から受け止めてこそ、そこから様々な課題が見え、そして、課題に対応する施策を生み出すことができます。

本市では、次々と未知なる課題が生まれる人口減少時代の中にあって、問題を前向きに捉え、一つ一つの課題に丁寧に向き合い、現場での市民の声や困り感を肌で感じる中で、様々な知恵と工夫で課題を暮らしやすさに転換しながら、市民の結束力やコミュニティの力を高めていきます。

こうした取り組みの積み重ねにより、自分自身が住み慣れた環境の中で、誰もが心豊かに穏やかに過ごすことができるまちをつくる事が出来ると考えています。

そして、こうした取り組みの一つ一つを全国にしっかり発信し、「飛騨市」の認知度を高めることが、「飛騨市に住めば何か楽しいことが起きる」、「何か楽しいことができる」という“気”を市内全域に醸成することに繋がり、本市に住み、そして関わる全ての人々が、毎日の生活を楽しく暮らすことが出来るようになると信じています。

このような考えから、**本市が目指す5年後のまちの将来像**を

**みんなが楽しく心豊かに暮らせるまち** とし、

SDGsの考えも取り入れ、誰一人取り残されず、互いを家族のように支え合えるまちづくりを進めます。

そして、まちの将来像の実現のため、政策スローガンである「**元気で あんきな 誇りの持てるふるさと飛騨市**」の3つの柱に細分化し、人口減少先進地としての全国モデルとなるまちづくりを推進していきます。

## (1) 元気な飛騨市づくり –しごとを守る–

### I 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち



高齢者や女性、障がいのある方や外国人など、全ての方が自分にあった働き方で生き生きと働けるまち

### II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち



人口減少時代のあらゆる場面でも、変革を恐れず柔軟に対応し、地域外需要の獲得に挑戦し続けるまち

### III 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち



あらゆる人や事業者等と交流し、多様な考え方やニーズを広く受け入れ、産業やまちづくりへの活力を生み出すまち

## (2) あんきな飛騨市づくり –まちをつくる–

### I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち



全ての市民がお互いを思いやり、最期まで自分の住み慣れた地で安心して暮らすことができるまち

### II お互いを家族のように思い、支えあえるまち



全ての市民がお互いを家族のように思い、支え合い助け合って暮らすことのできる、みんなが安心できるまち

### III 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち



全ての市民が、無理なく自分に合ったペースで健康な心と体づくりに励み、生涯現役で健やかに暮らせるまち

## (3) 誇りの持てる飛騨市づくり –ひとを伸ばす–

### I 子ども達の生きる力を地域一体で育む学び豊かなまち



人口減少時代において子ども達に求められる課題解決能力を地域が一体となり育ていくまち

### II 一人ひとりの頑張り応援し互いに尊敬しあえるまち



年齢・性別・出身等を問わず、自分を伸ばし成長し、どんな人・活動でも、みんなが尊敬しあえる“人”を誇れるまち

### III 豊かな環境と個性ある地域資源を大切にする誇り高いまち



個性溢れる地域資源を磨き、自然あふれる素晴らしい環境を全国・世界に自慢できる誇り高いまち

## 2. 将来像実現のための基本姿勢

こうした将来像の実現のため、本市の市政運営の基本となる姿勢を次の3つに示し、今後のまちづくりを進めます。

### (1) 対話と協働

#### ① 対話によるまちづくり

各地域における定期的な座談会や職員による出前講座、また、様々な現場での職員と市民との「対話」を徹底し、市民の声と思いを現場で直接聞き、市民の困り感に直接対応できる市政を進めます。

#### ② 協働によるまちづくり

市民の様々な活動を繋ぎ、地域間の市民レベルの交流を深めることにより、市全体が目標を共有し、様々な地域課題について皆で考え、ともに力を合わせて活動する“協働”を進めます。

---

## **(2) 交流と連携**

### **① 交流によるまちづくり**

飛騨市を多様な交流の舞台とし、観光客や飛騨市に思いを寄せていただける全国の関係人口、市民との温かい触れ合いの中で様々な文化や伝統を共有することで、賑わいと新しい価値を創造します。

### **② 連携によるまちづくり**

市内はもちろん、飛騨地域や県内、全国の優れた人材や自治体、企業、団体、大学との交流の芽を探す中で、互いの思いを尊重し合い前向きな交流を深めることで、互いの強みを生かし弱みを補い合える「共創」による連携型の市政を進めます。

## **(3) 挑戦と前進**

### **① 挑戦を続けるまちづくり**

時代の流れや現場で得たヒント、様々な交流の中で生まれる新しい発想と、失敗を恐れず改良を重ね積極果敢にチャレンジし続ける姿勢で、これまでにない飛騨市発の新たな政策を生みだし、“人口減少先進地”としての人口減少時代の全国モデルをつくります。

### **② 前進し続けるまちづくり**

いいと思うことはとにかく実践する、どんな未知なる課題でも乗り越える方法を考える、という前向きな“気”を市全体で共有し、現実を直視しながらも市民が一丸となって前に進むことができる市政を進めます。

## **第4章 行財政運営の方針**

## 第4章 行財政運営の方針

### 1. 財政の見通し

本市の今後の財政を見通しますと、国の施策に伴う人件費や社会保障関係経費の増加が見込まれますが、大型公共施設の建設が概ね落ち着いたことから、起債（借金）の抑制に伴う公債費負担（借金返済費）の減少により、財政の状況に余裕があるとは言えないものの、市の規模に応じた安定した財政運営を見込むことができます。

#### 【歳入】

（単位：百万円）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
地方税等	4,316	4,225	4,233	4,229	4,184
地方交付税等	7,760	7,561	7,364	7,050	6,793
経常一般財源総額	12,076	11,786	11,597	11,279	10,977
国県支出金	2,245	2,270	2,274	2,221	2,213
市債（通常債）	910	600	600	600	600
その他特定財源	3,138	3,397	2,829	2,955	2,508
歳入合計	18,369	18,053	17,300	17,055	16,298

#### 【歳出】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人件費	3,000	3,000	3,007	3,015	3,015
扶助費	1,776	1,766	1,756	1,745	1,735
公債費	2,838	2,708	2,423	1,988	1,633
義務的経費	7,614	7,474	7,186	6,748	6,383
一般行政経費	7,734	7,365	7,385	7,357	7,315
投資的経費	2,421	2,614	2,129	2,350	2,000
歳出合計	17,769	17,453	16,700	16,455	15,698

年度末財政調整基金残高	6,392	6,239	6,081	6,064	6,143
-------------	-------	-------	-------	-------	-------

※現時点で内容が定まっていない制度の影響は反映していません。

---

## (1) 歳入の見通し

### ① 一般財源（市税+地方交付税等）

過去の動向から市税が堅調に推移していること、計画期間内においては普通交付税や臨時財政対策債に大きな変動要素が見込まれないことから、国において大きな政策転換等がなされない限り、市の財政規模に応じた所要額が安定的に確保されるものと見込んでいます。

### ② 市債（通常債）

計画期間内の発行額は、交付税措置のある起債に限定の上、年間6億円と見込んでいます。ただし、現行制度上、令和2年度までの発行が認められている特に有利な起債については、有効に活用することとして別途加算しています。

### ③ 基金繰入金

財政調整基金については、従来からの方針を堅持し、計画期間を通じて60～65億円程度の年度末残高を維持することとしますが、計画期間の中期にかけては、「会計年度任用職員制度」の導入に伴う経費等に充てるため、一時的に繰入額の増加が見込まれるほか、本指針に掲げる主な大規模事業の実施にあたり、別途特定目的基金からの繰入を予定しています。

## (2) 歳出の見通し

### ① 人件費

正規職員の現員数を現行水準で維持しつつ、今年度水準の給与改定の継続を前提に見込むとともに、令和2年度からの会計年度任用職員制度の導入による追加所要額についても併せて見込んでいます。

### ② 公債費

合併前後の大型投資に充てた市債の償還が順次満了することに伴い、公債費負担は計画期間を通じて大幅に減少する見込みです。

### ③ 社会保障関係経費

少子高齢化の進行等による自然増に加え、消費税率の引上げに伴う社会保障の充実による追加需要があることから、介護保険を始めとする特別会計への繰出金を含めた社会保障関係経費は、累増するものと見込んでいます。

### ④ 投資的経費

社会基盤インフラの整備については、国県補助金の活用や、計画の範囲内での市債発行による財源確保を前提に見込むとともに、主な大規模事業については、別途財源を含めて見込んでいます。

---

## 2. 財政運営の方針

財政の見通しを踏まえたうえで、本指針に盛り込まれた重要な政策課題に対応するための更なる財源確保にあたり、下記の財政運営を基本方針とします。

### (1) 歳入確保への取り組み

#### ① 市税の確保

労働力人口が減少する中、従来の企業誘致型の税源涵養策が困難であることを踏まえ、既存企業の省力化のための設備投資や、新たな水力発電施設等の整備を促し、基幹税である固定資産税の安定的な確保に向けた取り組みを推進します。

#### ② ふるさと納税の推進

本制度に関する全国的な課題も顕在化しつつある中、安定的な財源として見込むことは困難であるものの、関係人口に関する諸施策の強化、魅力ある返礼特産品の充実等に取り組むことで、現行制度の下での更なる獲得を推進します。

#### ③ 税収以外の歳入確保

債券運用の拡充等による基金運用益の増加策に取り組むほか、利活用が見込めない未利用資産の売却を積極的に推進します。

### (2) 歳出削減への取り組み

#### ① 人件費

働き方改革の趣旨を踏まえた長時間労働の是正に向けた取り組みを強化し、計画期間における単年度の人件費総額を 30 億円以内に抑えることを目標とします。

なお、正規職員の現員数を現行水準で維持した場合、職員の退職と採用の新陳代謝だけでは定期昇給や給与改定に伴う自然増を吸収できないことから、会計年度任用職員を含めた適正な職員定数の管理を行います。

#### ② 公債費

計画期間内に市債の年度末残高を 60 億円削減し、令和 6 年度末の残高を 100 億円以下とする目標の下、交付税算入分を除いた公債費の実質負担を削減することで、現状水準からの余剰財源を生み出していきます。

#### ③ 投資的経費

老朽化した公共施設の突発的な修繕に充てるための想定外の財政需要を極力抑えるため、計画的な長寿命化対策を進めるとともに、合併に伴い機能の重複した施設、市民ニーズの変化により設置目的の薄れた施設については、統廃合や民間事業者への譲渡等を検討していきます。

## 3. 行財政改革

### (1) 事務事業の見直しと職員定数の管理

#### ① 職員定数の現状

近年、人口減少と高齢化による社会生活の急激な変化や多様化、複雑化による行政需要への対応が求められています。また、令和2年度からの会計年度任用職員制度の導入により人件費の大幅な増加が避けられない状況となっています。このような状況から、地方自治体は、限られた資源（職員、予算）の中で、どのように業務を効率化し、どのように工夫を重ね行政サービスを提供していくかが重要な課題であると認識しています。

#### ② 事務事業の見直しと定数管理の基本方針

このような状況を背景に、業務を効率化し整理することで、重点施策、分野への職員の重点配置等に努めます。また、ICTを活用したテレワークの導入等により時間や場所にとらわれない働き方の多様化へ対応するとともに、業務の外部委託、RPA化等を積極的に推進していきます。

組織を構成する職員については、任期の定めのない職員と会計年度任用職員を合わせた総数による職員定数管理を行ったうえで職員を確保するとともに、財政運営においても人件費過多とならないことが必須です。

また、職員研修によって職員個々の能力を高めることで効率的で生産性の高い組織をつくるとともに、前歴や年齢にとらわれない採用や外部人材の登用などにより多様なアイデアを生み出し受け入れる体制を作ります。

### (2) 公共施設の管理運営

#### ① 公共施設の現状

本市には様々な分野に多くの建物系公共施設がありますが、その約3分の1が築30年以上を経過しており、その比率は今後さらに高まることが予想され、10年20年後といった長期的なスパンで考えると、施設の改修や建て替えなど老朽化への対応が大きな課題となっています。

市では、人口減少や年代別人口構成の変化、市民のライフスタイルの多様化等に伴う施設の利用需要の変化及び今後見込まれる厳しい財政事情等を踏まえ、将来を見据えた公共施設等の計画的管理の基本的方針として、平成29年3月に「飛騨市公共施設等総合管理計画」を策定しました。また、長期的な視点をもって総合管理計画を総合的かつ計画的に推進するため、個別施設計画の策定を進めています。

#### ② 管理運営の基本方針

個別施設計画では、長期的な視点の下、予防保全により各施設を標準的な耐用年数を超えて使用することで建て替え時期を延伸し、計画期間中の総投資額を抑制することを基本的な考え方としています。

その実現のため、各施設の現状を把握した上で、長寿命化に資する具体的対策を洗い出し、

---

計画的に行うことで、財政負担の軽減、平準化を図ることを目標とします。

また、各施設の維持管理に対して毎年多額の一般財源が充てられている中で、近年、特に観光施設など多くの集客を伴う施設では、設備の経年劣化による突発的な修繕事案が多発しており、これらについては、国県からの補助金や有利な起債が無く、施設を維持し続けることが将来にわたり財政的に負担となること、社会情勢の変化等により施設設置当時と利用需要が異なってきたことから、次のステップとして、民間への譲渡による施設の有効活用について検討するとともに、類似施設等の廃止・転用等、施設のあり方そのものについても、地域や市民との意見交換を踏まえて検討を進め、市民の皆様安心して利用していただける環境を整備します。

あわせて、類似施設等の使用料については、一定の方針を定めつつ、各施設の特性に応じた適正な使用料の設定を行います。

### **(3) 内部統制制度の導入**

内部統制については、「自治体は自らの行財政運営の透明性を高め、行政を取り巻く様々なリスクに対し、自立的に対応可能な体制を整備する」観点から、本市においても過去から個々の業務で様々なリスク管理を行ってきました。

しかしながら、人口減少により資源（ヒト、モノ、カネ、時間）が限られることが見込まれる中で、現在においても業務量が増え、内容も多岐にわたり複雑化しており、このままでは適切な事務の執行ができない可能性が高く、限られた財源・人員で適正かつ効率的に市民サービスを行うための仕組みが求められていることから、内部統制制度の導入を推進します。

なお、既に地方自治法の改正に伴い、都道府県と指定都市は内部統制制度の導入が義務化されており、その他の市町村は努力義務とされています。都道府県や指定都市並みの内部統制制度を導入することは、本市の体制では難しいことから、飛騨市に合った体制で内部統制の仕組みを検討します。

## **第5章 政策の方向性**

## 第5章 政策の方向性

本市では、政策スローガンとして「元気で あんきな 誇りの持てるふるさと飛騨市」を掲げ、「元気」「あんき」「誇り」の柱ごとの政策方針を掲げるとともに、その実現に向けた取り組みを推進します。

### (1) 元気な飛騨市づくり –しごとを守る–

人口減少の影響を軽減するため、地域外から所得を稼ぐ製造業、農林畜産業、観光を振興しようとする取り組みです。商品（地域）の魅力を高め、産業を支える人を確保します。

#### I 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち

既に人口減少がかなり進行している当市では、働く世代、稼ぐ世代、消費する世代が大きく減少しており、その中でも、人口減少による担い手不足の解消が最重要課題であると言えます。

このため、あらゆる全ての方々誰もが働きやすく、活躍できる元気なまちを目指します。

#### ○ 多様な人材が活躍する産業の支援

企業の情報発信力の強化や意識改革を図り、外国人材を含む域外からの人材獲得を更に促進するとともに、障がいのある方、高齢者や子育て世代の女性など、あらゆる方々が自分にあった働き方ができるよう、受入企業や労働者の生活等を支援します。

##### ① 全ての産業における人手不足対策の推進

- 商工会議所や商工会、公共職業安定所等との連携を強化し、人手不足対策に関する情報やニーズを迅速に共有するとともに、事業所等が行う様々な人材確保対策を支援します。
- 飛騨牛繁殖研修センター「ひだキャトルステーション」や飛騨トマト研修所を核とした新規就農者の確保と、研修システムの構築、研修生の生活等にかかる支援を行うとともに、様々な研修機関等との連携を推進します。
- 就農者等の冬期間の就業支援と新たな冬期農作物の栽培を促進します。
- 伝統技術や資格・免許が必要な産業について、後継者育成や資格・免許取得を支援します。
- 人材マッチング団体と連携を強化し、関係人口による産業支援体制の構築を推進します。

##### ② 外国人材の更なる活用の推進

- 外国人技能実習生監理団体等との連携を強化し、事業者等のニーズに沿った支援を行い、事業者同士の相互交流を促進します。

- 
- 外国人が気持ちよく安心して飛騨市で就労できる環境整備を促進するとともに、互いに相談し合える仲間づくりを支援します。

### ③ 誰もが働きやすい環境整備の推進

- 女性や高齢者、障がいのある方、病を抱える方など、誰もが働きやすい環境を整備する事業者等を支援するとともに、就労される方の不安解消を支援します。
- NPO 法人等と連携し、市内事業者等のインターンシップ受入れを促進するとともに、受入れ事業者等の負担軽減を支援します。

### ④ 事業者等の情報発信力強化の推進

- 事業者自らの魅力的な情報発信力の育成を推進します。
- 事業者等の魅力的な就職情報を、情報が必要な学生や UI ターンを検討している方々にピンポイントで届けるための情報発信を推進します。

## ○ 少人数でも持続可能な産業の支援

商業や農林畜産業、医療や介護など様々な分野における ICT 等の活用による省力化の支援を充実します。また、新たな担い手の確保と育成支援の充実を図る一方で、少人数、小規模で最大限の効果を生み出せる産業への転換を促進します。

### ① 効率的な事業経営の推進

- 集積可能な農地の担い手への集約を支援するとともに、地域営農に取り組む農業者を支援します。
- 協働により効率のよい営農を行う事業者等を支援します。

### ② 新技術の導入による省力化の推進

- スマート農業や遠隔医療など、新技術や新システム等の導入により省力化に積極的にチャレンジする事業者等を支援します。
- 営農の負担を軽減するため、鳥獣被害対策を推進します。
- 新技術の導入や技術者のスキル向上を支援し、森林施業の効率化と山の保全を推進します。

## II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち

人口減少により地域内需要が減る中で、他と違い特色があるサービス・商品が出来なければ、更に衰退することが容易に予測されます。

---

このことから、常に新しいことを考え、変化するという中小企業の息長い挑戦を支援することにより、地域外需要の獲得に挑戦し続けるまちを目指します。

## ○ 新たな事業・商品・サービスを創造する事業者の応援

これまでの常識にとらわれず、また、時代の潮流を捉えた新しい事業や商品、サービスの創造に挑戦する事業者を応援し、新技術の積極的な導入による経営拡大を支援するとともに、都市部や海外など、域外の新たなマーケットに訴求し売り出す仕組みづくりを推進します。

### ① 新たなマーケット開拓の推進

- モノづくり事業者等に寄り添った支援を行い、飛騨市を代表する製品の開発・ブランディングを促進します。
- 都市部や海外など、域外での新たな販路拡大を行う事業者を支援するとともに、事業者等がチャレンジしやすい仕組みづくりを推進します。
- 事業者等のインターネット等を活用した販路拡大を支援します。
- 飛騨市ビジネスサポートセンター等により、事業者に寄り添った伴走型の相談支援体制を推進します。

### ② 新たな革新技术の活用による経営拡大の推進

- 時代の潮流を捉えた新しい事業や商品、サービスの開発・展開等に挑戦する事業者等を支援します。
- 新技術の導入等により、既存事業の拡大を図る事業者等を支援します。
- 商工会議所や商工会等との連携を強化し、事業者等に寄り添った経営指導や相談体制により、中小企業を支援します。

## ○ 自ら起業する人の支援と仕事づくり

起業を検討されている方がチャレンジしやすい環境を整備するなど、受入環境の充実を図るとともに、事業を起こされた方々に対しては、地域からの仕事を供給するなど、地域全体で応援する体制づくりを推進します。

### ① 新たな起業者の育成と受入環境整備の推進

- 都市部等からの副業者や兼業者の支援体制を構築し、NPO 等民間団体との連携によりサテライトオフィスやシェアオフィスの設置を促進します。
- 起業に対する様々な支援体制を構築し、起業を検討されている方が気軽に新事業に挑戦できる環境整備を推進します。

---

## ② 地域から仕事を供給する体制整備の推進

- 起業者の初期の経営安定を図り起業しやすい環境を整えるため、起業者への地域内からの仕事供給を促進します。

## ○ 地域資源を活かした産業づくり

当市面積の93%を占める森林のうち、その約70%を占める豊富な地域資源である広葉樹をブランド化し、新たな産業として確立するほか、薬草やえごまなど当市の特徴のある地域資源から新たな産業を生み出します。

### ① 広葉樹を活用した産業・まちづくりの推進

- 飛騨市（地域）産広葉樹に関わる関係者の連携を強化し、広葉樹のまちづくりに関する取り組みを全国にPRするなど広葉樹活用を推進します。
- 全国で広葉樹の活用に取り組んでいる他自治体や事業者等の関係者との連携により、関係者相互の交流や商品の共同開発、販路開拓のためのPRを推進します。
- 広葉樹生産・流通・加工・製造事業者等との連携により、小径木を中心とした多様な広葉樹の流通の新しい仕組みづくりを推進します。
- 小径材の新たな活用方法を研究し、小径木広葉樹を高価格で販売できる新商品の開発を推進します。
- 他自治体や岐阜県、林業事業者等との連携により、広葉樹林の高付加価値化に必要な知見・技術を有した人材育成を促進します。

### ② 薬草を活用した産業・まちづくりの推進

- 薬草の振興に関わるNPOや市民団体、企業等と連携し、薬草活用拠点施設「ひだ森のめぐみ」を核とした薬草料理教室や薬草活用体験会、フェスティバルなどの実施により薬草活用を促進します。
- 全国の薬草活用自治体や団体等との連携を強化し、薬草を活かしたまちづくりのPRを推進します。
- 市民や観光客に身近に薬草を感じてもらうため、薬草を活用した商品・料理等の開発・提供を行う事業者等を支援します。
- 大学や専門機関等との連携を強化し、薬草の食品としての栄養や薬理効果等について調査研究を進め、市民の健康寿命の延伸を推進します。

### ③ えごまを活用した産業・まちづくりの推進

- 飛騨産えごまの栽培拡大を支援し、飛騨産えごまの流通を促進します。
- 飛騨産えごまを使った料理や製品の造成を支援し、市内の至る所で飛騨産えごまの活

---

用が見られる環境を促進します。

### Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち

外貨を獲得するためには、人との交流の中で人間関係を強化し話し合いを深め、また、様々な場で夢を語り合う中で、ビジネスチャンスを見出すことが必要です。

このため、人や地域など飛騨市が持つ魅力を最大限発揮して、交流人口・関係人口を拡大し、人と人、人と地域が繋がることにより所得を生み出せるまちを目指します。

#### ○ 思い出に残る観光地づくり

飛騨市が持っている魅力をブラッシュアップし効果的に発信することで、他の観光地との差別化を図るとともに、訪日外国人を含む観光客の体験消費（コト消費）の拡大を目的として、体験型コンテンツの増加と市場拡大を促進し、誰もが行ってみたいくなる観光地づくりを推進します。

##### ① 観光客のニーズに合わせた受入環境整備の推進

- 天生・池ヶ原・深洞湿原への誘客を推進するとともに、安心して自然景観を楽しめる環境整備を推進します。
- 飲食や特産品等の新商品開発を支援するとともに、連携した PR 活動を推進します。
- 空き家等を活用したゲストハウスなど長期滞在しやすい宿泊環境の整備等を支援するとともに、ヒトやモノのシェアによる遊休資産等の活用を促進します。
- 外国人や障がいのある方、高齢者、また、宗教上の制限がある方なども含め、誰もが楽しめる観光地づくりのため、ネットインフラの整備やハード・ソフト両面のバリアフリー化を促進します。
- プレスや旅行エージェントとの交流を図り、積極的な誘致活動により市の認知度向上とプロモーション力の強化を推進します。
- 飛騨市観光協会や NPO、団体や大学等と連携し、マーケターやコーディネーター等、観光関連事業の中心となって動ける組織や人材育成を進めるとともに、新たな誘客手法の開拓を推進します。
- スポーツ大会や合宿、文化芸術活動や大学ゼミ、国際会議等を積極的に誘致し、受入れ体制の整備等により市内での様々な活動を支援します。

##### ② ヒト・モノ・コトを楽しむ新たな観光コンテンツの開拓推進

- 飛騨古川まつり会館やひだ宇宙科学館カミオカラボ、レールマウンテンバイクガッタンゴーを活用した観光客の滞在時間延長を促進します。
- 事業者や市民と連携し、起し太鼓の里広場の有効活用や、通年体験メニューの造成、

---

事業者等と連携したナイトタイムエコノミー等により観光消費の拡大を促進します。

- アニメや映画、映像作品を活用したコンテンツツーリズムを推進するとともに、市民主体とした“おもてなしの心”により飛騨市を舞台とした映像コンテンツ制作を支援します。
- まちや自然の魅力を伝える観光ガイドツアーの拡大とガイド育成を推進します。
- 飛騨市特有の地域資源や歴史文化資源を活用した既存コンテンツの拡充と新たな観光コンテンツづくりを推進します。
- 団体や企業と連携し、クアオルト健康ウォーキングに代表される個々人のペースに応じた効果的な運動によるヘルスケアツーリズムを推進します。

## ○ 都市部への訴求力が高い農林畜産業づくり

飛騨市産の安心安全で美味しい農畜産物に付加価値を付け、都市部等への差別化を重視した売り込み方を検討するとともに、地域の伝承作物を含めた安心安全な野菜の地域内循環を図り、あわせて商品を手に取りやすい環境整備を推進します。

### ① 飛騨米など農作物の高付加価値化による販路拡大の推進

- 産直市場を核とした農産加工物等の外商強化を推進します。
- アンテナショップ等による飛騨地域内での農産加工物の販路拡大を推進します。
- 事業者等との連携を強化し、国際的に評価されている飛騨米のブランディングにより、高付加価値化した商品としての首都圏等販路拡大を推進します。
- 飛騨市に古くから伝承している飛騨地域特有の農産物の生産体制維持の強化とブランディングによる販路拡大を推進します。
- 生産者や消費事業者等との連携を強化し、市内飲食店や宿泊施設等での飛騨市産農作物の流通を促進します。

### ② 飛騨牛など畜産の生産体制強化と新たなブランド開発の推進

- 飛騨地鶏や飛騨市産経産牛のブランディングによる販路拡大を進めるとともに、市内での認知度向上を推進します。
- 飛騨市畜産診療所を核とした診療体制の強化を図り、飛騨牛増頭と白血病フリーの環境を促進します。
- 飛騨地域3市1村での連携により、令和4年度の全国和牛能力共進会の応援体制を強化し、飛騨牛のブランディングを推進します。

## ○ 関係人口等との交流によるまちづくり

観光以外にも飛騨市に関心を持ち訪れていただける「関係人口」の増加を図り、地域づくりや産業振興のお手伝いにつなげるとともに、全国の様々な自治体や企業等との連携を強化し、相互交

---

流による人づくりを推進します。また、移住・定住された方や検討されている方に対して、移住促進や移住後の困り事に寄り添い生活の不安解消を図る取り組みを推進します。

### ① 関係人口との関係深化によるまちづくりの促進

- 「飛騨市ファンクラブ」や「ふるさと種蔵村」など、飛騨市のファン拡大と相互の交流を推進します。
- 事業者や大学等との連携により全国や海外の関係人口増加を促進するとともに、関係深化のメカニズム研究を推進します。
- 「関係案内所」を創設し、飛騨市との関わりに関する情報提供や市内での様々な活動を支援します。
- ふるさと納税の取り組みを強化し、返礼品の発掘やふるさと納税を入口とした関係深化の取り組みを推進します。

### ② 連携・提携等による交流の推進

- 海外を含む他の自治体や大学、企業、団体など、様々な形での連携を推進します。
- 市民相互のヒトやモノの交流を促進します。

### ③ 移住・定住の促進

- 飛騨地域3市1村の連携による飛騨地域のPR活動を強化し、飛騨地域への移住定住を促進します。
- 移住者が必要とする住まいや仕事の情報発信を強化するとともに、寄り添った相談支援体制の構築を推進します。
- 降雪など飛騨市特有の課題等による移住者の不安解消を支援します。
- 首都圏等からの移住による地域でのまちおこし活動を支援します。
- 飛騨市の人材不足を解消するため、国家資格等を持った方の市外からの移住を促進します。

## (2) あんきな飛騨市づくり – まちをつくる –

介護、医療、障がい児者支援、低所得者対策など、弱い立場の方々への支援は市民全てが必要とする取り組みです。地方自治体の本務と位置付け、市民の安全・安心を守ります。

### I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち

「誰一人取り残さない」というSDGsのテーマを強く意識し、全ての市民が互いを思いやり、例え少

---

数でも弱い立場の方や困っている方々を大切にすることで、飛騨市民が誰一人取り残されないまちを目指します。

## ○ 必要な医療・介護を受けられる体制づくり

医療・介護の喫緊の課題である人材不足について、外国人の活用も含め全力で取り組みます。また、飛騨市全域を地域包括ケアが学べる最適な実習フィールドとして整備し、研修医や医療・介護専門職に訴求するなど、全国一の支援体制構築を推進します。

### ① 医療・介護職等の人材確保の推進

- 飛騨市出身の医療・介護・福祉人材への就職情報の提供を強化するとともに、地域のクリニックを含めた医師・看護師・コメディカル等の人材確保対策を推進します。
- 飛騨市で働く医療・介護・福祉職の学習環境構築等を推進します。
- 外国人やシニア世代の活用を含めた様々な介護人材確保・育成対策や、既に働いている介護職員の負担軽減や仕事への意欲醸成に取り組む事業者を支援します。
- 在宅医療・介護の家族負担を軽減するとともに、提供サービスの充実と地域による生活支援の強化を推進します。
- 大学や専門学校等と連携し、介護職等の育成から市内就職までを支援します。
- 医療の枠を越え、介護や福祉を含め家族全体を支える看護師の育成を推進します。
- 飛騨市民病院を核として、研修医や看護学生等が地域包括ケアを学ぶ最適な実習フィールドの環境整備と支援体制の構築を推進します。
- 飛騨市民病院を守り、維持するとともに、持続可能な診療科や病床数等のあり方を検討し経営体制の強化を推進します。

### ② 市外医療機関との連携の推進

- 飛騨医療圏の基幹病院である高山赤十字病院と久美愛厚生病院の医師確保や医療機器の整備等を支援します。
- 富山大学附属病院との連携を強化し、医師等の人材確保や市民の健康づくりに関する取り組みを推進します。

## ○ 最期まで住み慣れた場所で暮らせる仕組みづくり

最後まで自分が生まれ育った家で安心して暮らすことができるよう、様々な生活支援の充実を推進するとともに、亡くなられた方の遺族の不安軽減を支援します。

### ① 高齢者の生活支援と見守り体制強化の推進

- 高齢者等の買い物弱者が安心して買い物や語らいができる場づくりと、事業者への支援

を推進します。

- 高齢者の外出支援による健康維持を促進するとともに、除雪やゴミ捨て等の生活に関する困りごとの解消を推進します。
- 地域見守り支援員による高齢者の見守り体制強化と、認知症に対する市民への普及啓発を推進します。
- 高齢者が安心して暮らせる拠点の整備を推進します。

## ② 残された遺族を支える終活支援体制強化の推進

- 遺族に寄り添った支援体制を整備するとともに、生前にできる様々な終活の市民周知を推進します。
- 犯罪や交通事故等で突然亡くなられた方の遺族に寄り添い、様々な支援体制の構築を推進します。
- 個人墓地等の維持管理等について現状の把握を行い、安心して最期まで暮らすことができる環境整備を推進します。

## ○ 弱い立場の方も一人ひとりありのままの自分を大事にされる環境づくり

弱い立場の方、障がいのある方、ひとり親家庭、生きづらさを抱える方たちも、それぞれの居場所・ペースで安心して就労・社会参加ができる環境を整備するとともに、安心して過ごすことができる居場所づくり、生涯安心して暮らせる環境整備を推進します。

### ① 障がいのある方の生活環境整備と雇用拡大の推進

- 障がい児者が安心して日中過ごすことができる拠点等の整備を推進するとともに、民間事業者によるサービス等の拡大を促進します。
- 障がいのある方が一人でも安心して生涯暮らすことができる拠点の整備やサービスの拡充を推進します。
- 飛騨市こどものこころクリニックを核として、発達支援センターや学校、事業者等との連携により、早期の治療と家族全体を支える体制の構築を推進します。
- 障がいのある方の社会参画や就労を促進するとともに、受け入れる事業所等の拡大を促進します。
- 様々な障がいを市民が理解し、地域全体で見守る環境づくりを推進します。
- 様々な重度の障がいがある方の就労支援体制の研究を進め、支援体制のノウハウ蓄積と市内事業者等への横展開を促進します。

### ② 弱い立場の方や暮らしに困難を抱える方への支援の拡大

- 医療関係者や支援事業者等との連携により、閉じこもりの方たちの心のサポート強化を

推進します。

- 閉じこもりなどの方たちが相談しやすい体制を構築するとともに、居場所づくりを推進します。
- 閉じこもりなどの方たちの就労まで寄り添ったサポートにより、生活の自立を支援します。
- 子どもの不登校を未然に防ぐため、学力不振な児童生徒をサポートする体制の構築と、保育園・小学校・中学校の各段階にスムーズに進学できる支援体制づくりを推進します。
- 不登校児等が安心して勉強できる環境整備と、専門職員による心と勉強の両面からのサポートを推進します。
- ひとり親家庭が抱える様々な困りごとの実態を把握し、生活や就労を支援します。

## ○ 安心して暮らせる公共サービスづくり

水道・道路・公共交通・除雪・ゴミ処理など、必要な生活サービスを安定的に提供するとともに、施設の休止・廃止・統合等による最適化を実施し、暮らしに必要な公共サービスを維持できるよう計画的な取り組みを推進します。

### ① 暮らしに必要な公共サービスの維持と人材確保の推進

- 安定的な公共サービスの維持のため、飛騨市職員数の適正管理と計画的な人材確保を推進します。

#### (道路)

- 市道釜崎～朝浦線の早期開通による通学路の安全確保と、市道杉原～小豆沢線の早期着工、また、既存市道の安定的な維持管理、橋梁等の安全点検による長寿命化を推進します。
- 市道跡津川線の早期改良により、宇宙物理学研究者の研究環境向上を推進します。
- 経済団体や飛騨地域3市1村で連携し、主要国道41号、360号、471号のほか、県道等にかかる安全対策について国県への要望活動を推進します。
- 市民ニーズに即した除雪重機による道路除雪の安定的な運行と、消雪設備の適正な運用を推進します。
- 森林内の骨格となる幹線林道や作業道の開設・維持を推進します。
- 点検補修等による橋梁・トンネルなどの長寿命化を推進します。

#### (上下水道)

- 上水道設備の健全な維持と耐震化により安心安全な水を各家庭に供給できるよう計画的な整備を推進するとともに、市民への水利用に関する様々な情報発信を推進します。
- 下水道設備の健全な維持と耐震化による安定的な汚水処理環境の整備を推進します。

#### (ごみ・し尿処理)

- ごみ処理施設やし尿処理施設も含めた将来の人口規模に沿った処理施設等の統廃合を検討し、安定的な汚水処理環境の整備を推進します。

### (公共交通)

- 通学、通院、買い物、入浴等の外出などの支援に重点を置きつつ、企業等と連携し、市民のニーズの把握による路線の新設や廃止等も踏まえた公共交通サービスの提供を推進します。

### (情報インフラ)

- ケーブルテレビやインターネットなど情報インフラ網の環境整備を推進するとともに、持続可能なサービスのあり方と安定供給手法の検討を推進します。

### (救急・消防)

- 女性や高齢者などが活躍できる環境整備や、消防操法大会のあり方を検討し、持続可能な消防団体制の整備を支援するとともに、飛騨市消防本部との連携強化を推進します。
- 誰もが安心して暮らせる救急・消防体制の維持と、人材確保を推進します。

## ② 安心して暮らせる環境整備の推進

- 高齢者や障がいのある方が安心して利用できるよう、都市公園等を含めた公共施設等のトイレの洋式化とユニバーサルベッドの設置を推進するとともに、各地区が所有する公民館や公園のトイレ等の洋式化を支援します。
- 市民の良好な住環境の整備を支援します。

## II お互いを家族のように思い、支えあえるまち

コミュニティの在り方を考えた時、理想の姿は家族のような地域であり、実際にそうしてコミュニティを維持している地域が存在しています。こうした地域での活動を支援することを通じ、これからの人口減少時代を乗り切るため、全ての市民がお互いを家族のように思い、支えあい助け合って暮らすことのできるまちを目指します。

### ○ みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり

コミュニティの維持が自主防災組織の育成と支援体制の強化につながることから、交流できる場の創出など様々な工夫によりコミュニティの形成を図る市民の取り組みを促進するとともに、自治組織の組織化や体制維持を支援します。

#### ① コミュニティの強化と持続可能な体制整備の推進

- 自治会組織の持続可能な体制整備を支援します。
- 各地域のコミュニティ活動を促進するとともに、地区が管理する集会所等の維持改修を支援します。

- 各地域での見守り体制を強化するとともに、災害時等の避難体制の構築を促進します。
- 地域の防犯に対する意識啓発を推進するとともに、設備等の設置により地域の防犯力強化を促進します。

## ② 地域防災力強化の推進

- 防災士の育成と専門講習によるフォローアップ体制を構築するとともに、市民への防災意識の啓発を推進します。
- 市民や企業、団体等と連携した避難所運営体制の構築を推進します。
- 基本的な防災備蓄品の計画的な配備にあわせ、乳児や障がいのある方など各分野に必要な備蓄品の配備を推進します。
- 介護施設や医療機関等の福祉避難所体制の強化と備蓄品等の配備を促進します。
- 被災時の市役所や各振興事務所の事業継続体制の強化を推進するとともに、飛騨市社会福祉協議会等と連携し、外部からの受援体制整備を推進します。
- 被災時や救急時の支援活動等を行える環境の整備と人材育成を推進します。
- 事業者等の被災時の事業継続の取り組みを促進します。
- 大学等と連携し、防災に関する調査・研究を推進します。
- 経済団体や飛騨地域3市1村で連携し、河川や砂防施設の整備、治山などの大型防災事業について国県への要望活動を推進します。

## ○ 楽しく子育てできる環境づくり

ベビーシートや授乳室、子ども達の遊び場、居場所等、子どもを連れて出かけたい環境の整備と、子育て世代の経済負担の軽減を図ります。また、出産前後や子育て期の保護者の不安を取り除く相談支援体制を強化し、地域全体で安心して楽しく子育てができる環境整備を推進します。

### ① 子育て環境充実の推進

- 季節・天候等を気にせず気軽に安心して遊ぶことができる場の整備と、あわせてベビーシートや授乳室などの整備を推進します。
- 小さなお子さんが多く集まる公園等の環境充実を推進します。
- 母親との積極的なコミュニケーションを図り、母子の健康管理を支援するとともに、乳幼児の疾病予防を推進します。
- 保護者のニーズに沿った保育体制と保育士確保対策を推進します。

### ② 産前産後の支援体制強化の推進

- 助産師や医療機関等と連携し、産前産後の不安解消のため、専門職や妊産婦同士で気軽に相談できる環境整備を推進します。

- 産前産後の子育て負担を軽減し、産後うつ予防を推進します。

### ③ 教育環境向上の推進

- 子どものライフステージに応じた経済負担の軽減を推進します。
- 意欲と個性ある生徒の大学等への進学を支援します。
- 市民や団体等と連携し、放課後等に子ども達が安心して過ごすことができる子どもの居場所づくりを促進します。

## Ⅲ 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち

人生 100 年時代から健康 100 年時代への転換を図り、健康寿命の延伸を目的として若者から高齢者まで、誰もが無理なく自分に合ったペースで健康な心と身体づくりに励むとともに、自分のペースで元気に活躍できる場を創出することで、生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまちを目指します。

### ○ 全世代の健康づくり・体力づくりの支援

生活習慣病予防のための生活習慣改善に向けた保健事業の充実を図るとともに、ウォーキングを始めとした運動やスポーツに気軽にチャレンジできる環境づくりを推進します。あわせて、高齢者の体力維持のための運動・リハビリにも力を入れることで、健康寿命の延伸を推進します。

#### ① 生活習慣改善の推進

- 全ての世代における減塩の取り組みを推進します。
- 健康診断や人間ドックの定期的な受診を促進するとともに、相談体制を強化し早期治療や生活習慣の改善を推進します。
- 市民の健康づくりを推進し、機運醸成を図るリーダーを育成するとともに、気軽に健康に関する取り組みを実施できる環境づくりを推進します。
- 疾病予防を目的としたワクチン接種等の支援を推進します。

#### ② 高齢者のリハビリ等軽運動と生きがいづくりの推進

- 高齢者が気軽に運動できる通いの場の提供と、専門職員による健康づくりを推進します。
- 医療と介護の連携による高齢者の口腔ケアの取り組みを推進します。
- 高齢者が気軽に参加しやすい就労環境の整備と支援体制の構築を推進します。

#### ③ スポーツを通じた健康増進の推進

- ウォーキングや軽スポーツなど市民が気軽に運動しやすい施設環境を整備するとともに、民

---

間施設等を活用した健康増進の取り組みを促進します。

- 事業者や団体等との連携を強化し、指導者の確保・育成を推進します。
- 競技スポーツの普及啓発を図り、市民の運動意識の醸成とスポーツによる交流を促進します。

## ○ どんな人でも自分のペースで活躍できる環境づくり

性別や年齢、国籍や障がいの有無などに関わらず、誰もが楽しく交流・連携できる居場所づくりと、高齢者や障がいのある方が自分のペースで社会に参画し、無理なく活躍することで生きがいと活力を見出せる環境づくりを推進します。

### ① 誰もが活躍できる仕組みづくりの推進

- 参画しやすい新たなコミュニティの形成を図るとともに、支援体制の構築を推進します。
- 特技を発揮して、自分のペースで無理なく社会参画できる仕組みづくりを推進します。
- 性別や年齢、出身などに関わらず、誰もが自分らしく活躍できる環境づくりを推進します。

### ② 誰もが無理なく楽しめる場づくりの推進

- 誰もが気軽に集まることができる居場所づくりを進めるとともに、自分の活動を気軽に PR することができる場の提供を推進します。
- 割石温泉など、子どもから高齢者まで気軽に集い触れ合うことができる環境づくりを推進します。

## (3) 誇りの持てる飛騨市づくり –ひとを伸ばす–

飛騨市の地域資源を掘り起こし、市民の自信につなげることで、飛騨市を誇りに思う気持ちを高め、若者の定着とUターン、移住を促進します。

## I 子ども達の生きる力を地域一体で育む学び豊かなまち

これから先の予測不可能な未知の課題が次々と出てくる人口減少時代の中で、次代を生きる力「課題解決能力」を育む教育を重点と位置付け、学校だけではなく、地域一体となって様々な体験や交流を通じて、逞しく生き抜く子ども達を育むまちを目指します。

## ○ 未知の課題に立ち向かい自ら解決することのできる子ども達を育むまちづくり

市内の保育園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校を一つの学園に見立てた一貫連携教育構想、「飛騨市学園構想」を推進し、一貫カリキュラムによる教育やコミュニティスクールの導入、ICT を活用した各校種間交流等の実施により、未知の課題に立ち向かい自ら解決することの

---

できる課題解決型人材の育成を推進します。

### ① 飛騨市学園構想の推進

- 飛騨市学園構想が理想とする未来の創り手像の育成を目指し、各学習ステージにおける独自のカリキュラムを推進します。
- 飛騨市学園構想を市民や飛騨圏域、県内外に広く周知するとともに、市民の主体的参画を促すことにより意識の醸成を推進します。
- コミュニティスクール制度を導入し、地域と一体となった人材育成の体制づくりを推進します。
- 企業等や学校と連携し、高等学校による地域活動を通じた実践的な教育プログラムの構築と実践を促進します。
- 小学校や中学校の ICT 教育環境を整備し、教育の情報化を推進します。

### ② 飛騨市ならではの教育と環境整備の推進

- 各学校施設の維持改修を図り、安心して学べる環境整備を推進します。
- ふるさとの歴史や文化を学び体験する教育を推進します。
- 飛騨市産農畜産物等を活用した食育を推進します。
- 小学校での英語教育体制の強化を推進します。
- 県立吉城高等学校、県立飛騨神岡高等学校との連携を強化し、地域と一体となった魅力的な学習環境づくりを支援します。

### ③ 部活動や学校外での活動支援の推進

- 部活動指導体制の強化を推進するとともに、普段の練習に加え大会出場等も含めたサポートを推進します。
- 学校外での様々な活動に光を当て、学校内はもとより市民全体で応援する環境づくりを促進します。
- 少子化による部活動の維持のための学校間での合同チームの構築や大会等への出場を支援します。

## Ⅱ 一人ひとりの頑張りを応援し互いに尊敬しあえるまち

市内には、それぞれとても素晴らしい活動をされている方が多くおられます。こうした活動が更に市内に浸透するよう後押しするとともに、お互いの頑張りに声を掛け合い、互いに認めあえる雰囲気をつくることで、「私もやってみよう」、「自分がまちを作るんだ」という“気”を生み出し、新たなまちづくりが生まれるきっかけを作り“人”を誇れるまちを目指します。

---

## ○ 生涯学び自分を磨くことができる環境づくり

どんな世代でも、楽しく学び、自分を磨きながら様々な人と交流することで新たな仲間づくりができる場を整備します。また、市民が気軽に文学や音楽、芸術などに触れる機会を増やすことで、新たなまちづくりが生まれるきっかけづくりを促進します。

### ① 生涯にわたって学べる環境整備の推進

- 「飛騨市民大学（仮称）」構想を進め、全国の一流講師等による講義を受けられるような仕組みの構築を推進します。
- 市民が自分を磨くことができる様々な学びプログラムの造成を促進し、あわせて市民自身が講師として教え合える仕組みづくりを推進します。

### ② 趣味を楽しみ文化芸術に触れる環境整備の推進

- 飛騨市美術館の改修等を行い、市民が気軽に文化・芸術・音楽等に触れる環境を整備するとともに、一流芸術家から直接学ぶことができる仕組みの構築を推進します。
- 市民が気軽に自身の創作活動を行うことができる環境を整備し、活動を発表できる機会と場の創出を推進します。
- 飛騨河合音楽コンクールなどの経験と人脈を生かし、全国の若手芸術家が訪れ腕を磨くことができる機会づくりを推進します。
- 飛騨市にゆかりのある芸術家等の掘り起こしと、作品の市内展示を推進します。

## ○ 個性あるまちづくり活動の促進

それぞれのまちづくり活動同士を広く周知し、お互いのまちづくり活動を知り、交流できる仕組みを構築することで、互いに応援し評価しあえる環境づくりを推進します。また、まちづくりを担う新たな人材の発掘と育成を行うことで、誰でもまちづくりに気軽に参加できる機運醸成を促進します。

### ① まちづくりを担う人材の発掘・育成の推進

- 市民個人や団体が行う大小様々なまちづくり活動を発掘し、広く周知するとともに、互いに応援し合える環境整備を推進します。
- 企業や団体、大学等と連携し、新たにまちづくりを担う人材の発掘と育成を推進します。

### ② 地域のまちづくり活動の連携と創出促進

- 各団体同士の交流とまちづくり人材の育成を推進するとともに、各団体が気軽に集える拠点整備を推進します。
- 市民が気軽に他地域のまちづくり活動やイベントに参加できる環境整備を推進します。

---

### Ⅲ 豊かな環境と個性ある地域資源を大切にす誇り高いまち

飛騨市にある豊かな自然環境や湿原などの自然資源、また、当市にしか存在しない歴史、文化、科学などの貴重な地域資源は、市民の誇りであり財産です。こうした地域資源を大切に、誇りと愛着を持って全国・世界に自慢できる誇り高いまちを目指します。

#### ○ 地域・文化資源を大切に自慢できる仕組みづくり

当市にしかない地域資源を継承し存続させていく仕組みの構築と、新たな歴史資源等の掘り起こしを推進します。また、こうした地域資源の魅力を広く全国・世界に発信することで飛騨市の認知度向上を推進します。

##### ① 新たな地域資源・歴史資源創出と掘り起こし・磨き上げの推進

- ドローンや廃線鉄路の利活用など、市民や団体と連携した飛騨市特有の地域資源を活用したまちづくりの拡大を推進します。
- 鮎や棚田風景など飛騨市が全国に自慢できる地域資源を掘り起こし、地域住民や団体、大学等と連携したブランディングを推進します。
- 国史跡指定を目指した山城の発掘を推進するとともに、全国への発信と活用を推進します。
- 飛騨市に関わりのある歴史の調査・研究と、市内外への周知を推進します。
- ユネスコ無形文化遺産登録された古川祭の史実調査・研究を推進します。
- 天生の森、池ヶ原、深洞湿原の保全を推進するとともに、環境保護技術の向上、伝承を支援します。
- 大学や事業者等と連携し、宇宙物理学研究の支援を推進します。

##### ② 文化資源継承の推進

- 地域の祭や歌舞伎、獅子舞、能、民謡等の伝統芸能、文化等を後世に継承する取り組みを支援します。
- 貴重な伝統文化の映像を保存し、市民が気軽に閲覧できる仕組みの構築を推進します。

#### ○ 豊かな自然と水を守り後世に引き継ぐ仕組みづくり

下水道網の完備や環境に配慮したエネルギー産業の推進、ゴミの減量化などの取り組みを着実に実行することで、飛騨市の93%を占める豊かな森や、その森が生み出すミネラル豊富な水、そして水が育む動植物を大切に守り、後世に引き継ぐ仕組みの構築を推進します。

##### ① ゴミの減量化の推進

- 企業等との連携によるゴミ減量の取り組みを推進します。

- 
- 市民がゴミを分別しリサイクル回収しやすい環境整備を推進します。
  - 市民との協働により不用となった物を再利用するリユース活動を支援します。
  - ゴミ減量の取り組みを推進する地域のリーダーの育成を推進します。
  - 学校や飲食店・宿泊施設等と連携し、食べ残し等食品廃棄の減量を推進します。

## ② 自然・水資源を保全する取り組みの推進

- ゴミの不法投棄防止の取り組みを推進します。
- 下水道網の完備による河川環境の向上を推進します。
- 環境に配慮した水力発電等のクリーンエネルギー事業の誘致を推進します。
- 山林や河川等の自然環境や様々な動植物等を守り、維持する取り組みを推進します。

## **第6章 主な大規模事業**

## 第6章 主な大規模事業

### 主な大規模事業の見通し

ここでは、本指針の計画期間内（令和2年度から令和6年度）に整備を予定している主な大規模事業について記載します。ただし、基本的には毎年の予算編成の中で実施を検討していくものであり、各年度の財政状況等により実施年度が前後する可能性があります。

- ★……整備にかかる財源を確保している事業
- ……毎年の予算協議の中で財源の見通しを立て実施を検討する事業

#### (1) 元気な飛騨市づくり

- **農地利用集積最適化 (R2~)**  
古川町是重地区における農業生産性の向上のための土地改良事業を実施します。
- **市道の無電柱化整備 (R2~5)**  
街の景観と歩行者の安全確保のため、市道壺之町線の無電柱化を実施します。
- **農産物直売施設の建設 (R2~)**  
古川町内にある農産物直売施設の老朽化に伴い、現在の場所から移転して新たに建設します。

#### (2) あんきな飛騨市づくり

- ★ **障がい者グループホーム等の整備 (R2~3 : 420,000 千円)**  
旧和光園をリノベーションし、障がい者のグループホームやホームヘルプステーション等の複合施設を整備します。
- ★ **庁舎の非常用電源設備の整備 (R2 : 120,000 千円 : R2-3)**  
本庁舎及び各振興事務所における防災対策室への給電を目的とした非常用自家発電装置を整備します。
- **市道の改良**
  - ・市道釜崎～朝浦線
  - ・市道杉原～小豆沢線

---

・市道跡津川線

● **公園の環境整備**

杉崎公園の遊具更新や坂巻公園のトイレ改修、各公園のベビーシートの設置など、子どもの遊び場環境を整備します。

★ **古川町屋内運動場の建設 (R3~5 : 430,000 千円)**

古川町に全天候でスポーツが楽しめる新たな屋内運動場を建設します。

★ **古川トレーニングセンターの整備 (R2~3 : 167,000 千円)**

古川トレーニングセンターのアリーナを含めた内装のリニューアルを実施します。

### (3) 誇りの持てる飛騨市づくり

★ **神岡小学校の大規模改修 (R3~4 : 270,000 千円)**

これまで大規模な改修が実施されていない神岡小学校の外壁など、大規模な改修を実施します。

● **非構造部材の耐震化 (R2)**

古川西小学校・河合小学校の体育館の天井板撤去や照明器具の耐震化等を実施します。

★ **飛騨市美術館の整備 (R2~3 : 284,000 千円)**

空調設備の整備や収蔵庫の拡張など現在の美術館が抱える諸課題の解決に向けたリニューアルを実施します。

● **姉小路氏関連城館跡の発掘 (R2)**

古川城や小島城を始めとした姉小路氏関連城館跡の発掘調査を実施し令和4年度の国史跡指定を目指します。

## 【用語集】

市税	市民の皆様からの税金や、国税や県税に連動する交付金など
地方交付税等	行政サービス水準確保のため国から交付されるお金
一般財源	用途の限定されない財源で、市の裁量によって使える財源
国県支出金	特定の事業の財源に充てるための国や県からの補助金など
地方債（通常債）	投資的経費の財源に充てるため市が借り入れる借金
特定財源	特定の用途に充てるための財源
人件費	職員給料や議員報酬、消防団員報酬など
扶助費	児童手当や生活保護、障がい者支援に対する給付など
公債費	市債（借金）の償還費用
一般行政経費	施設管理・ごみ処理・バス運行・下水道や介護会計への負担など
投資的経費	道路や公共施設の整備費用
会計年度任用職員制度	臨時・非常勤職員の適正な任用と勤務条件の確保に向けた見直し
重要業績評価指標（KPI）	Key Performance Indicator の略であり、施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標

# 飛騨市総合政策指針

～ 人口減少先進地が見せる 人口減少時代の処方箋 ～

(事務局) 〒509-4292 岐阜県飛騨市古川町本町2番22号

飛騨市 企画部 総合政策課

電話 : 0577-73-2111 (代表) FAX : 0577-73-6558

E-mail : [sougouseisaku@city.hida.gifu.jp](mailto:sougouseisaku@city.hida.gifu.jp)

## 第7章 検証指標

※この資料は、12月12日現在、追加を含め検討中のものです。

## 第7章 検証指標

### 検証指標と考え方

本章に示す指標は、本指針において市が目指す将来像と政策の方向性について、政策の検証を行うために設定する指標です。

飛騨市では、この指標を、市の事業実施による成果を示す「事業実施指標」＝「KPI（重要業績評価指標）」と、市の政策形成の参考として用いる「観測指標」に分類した上で、施策を検討・実施していきます。また、目標とする年度は、本指針の計画期間に合わせ、令和6年度とします。

#### （1）事業実施指標＝KPI（重要業績評価指標）

KPI（重要業績評価指標）とは、Key Performance Indicator の略であり、市の施策により動かすことができる指標です。対象となる指標は、本指針第5章に掲げる政策の方向性を踏まえ、今後も継続して実施していく事業の中から、将来像実現への貢献度を勘案し特に重要と思われるものを選定しています。

##### ① 商工・観光分野 ～元気な飛騨市づくり～

事業実施指標	計画開始時	計画終了時
新商品開発補助制度を活用した商品等の開発数	●●●	●●●●
起業化促進補助制度を活用した起業者数	●●●	●●●●
飛騨市ビジネスサポートセンター利用件数	●●●	●●●●
飛騨古川まつり会館入館者数	●●●	●●●●
まち歩きガイド利用者数	●●●	●●●●

##### ② 農林畜分野 ～元気な飛騨市づくり～

事業実施指標	計画開始時	計画終了時
トマトの新規就農者数	●●●	●●●●
繁殖雌牛の増頭数	●●●	●●●●

③ 医療・介護・福祉・健康分野 ～あんきな飛騨市づくり～

事業実施指標	計画開始時	計画終了時
健康まちづくりマイスターの養成者数	●●●	●●●●
まめとく健康ポイント制度申込者数	●●●	●●●●

④ 高齢者・障がい者支援分野 ～あんきな飛騨市づくり～

事業実施指標	計画開始時	計画終了時
地域複合サロンの参加者数	●●●	●●●●
公共施設トイレの洋式化率	●●●	●●●●

⑤ 防災分野 ～あんきな飛騨市づくり～

事業実施指標	計画開始時	計画終了時
防災士の育成者数	●●●	●●●●

⑥ 教育・子育て分野 ～誇りの持てる飛騨市づくり～

事業実施指標	計画開始時	計画終了時
子どもの遊び場の整備数	●●●	●●●●

⑦ 文化・歴史・まちづくり分野 ～誇りの持てる飛騨市づくり～

事業実施指標	計画開始時	計画終了時
飛騨市ファンクラブ会員数	●●●	●●●●
飛騨市美術館の入館者数	●●●	●●●●
江馬氏館跡公園の入館者数	●●●	●●●●

⑧ 環境分野 ～誇りの持てる飛騨市づくり～

事業実施指標	計画開始時	計画終了時
ゴミのリサイクル率	●●●	●●●●

## (2) 観測指標

市の政策や事業の影響度が少なく、市民一丸となって努力を重ね、その中で飛騨市が全国をリードして地域社会全体を変えていくことを通じて参考とする指標です。また、地域社会の情勢やトレンドを把握し、市政の立案につなげるため、継続的に観測する指標としても位置付けています。

	観測指標	計画開始時	分析のポイント
人口総数	総務省「国勢調査」 県「人口動態統計調査」	● ● ●	国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」と実際の人口を比較し、傾向を分析します。
年齢区分別人口	総務省「国勢調査」 県「人口動態統計調査」	● ● ●	国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」と実際の人口を比較し、傾向を分析します。
出生数	厚生労働省「人口動態調査」 市「住民基本台帳」	● ● ●	各年の出生数を比較し、婚姻件数や出生順位を分析します。
合計特殊出生率	厚生労働省「人口動態調査」 県「飛騨の公衆衛生」	● ● ●	各年の出生時の母の年齢を比較し、毎年の変化や中期的な動向を分析します。
未婚率	総務省「国勢調査」	● ● ●	未婚率の推移を比較し、非婚化・晩婚化を分析します。
平均初婚年齢	厚生労働省「人口動態調査」 県「飛騨の公衆衛生」	● ● ●	平均初婚年齢の推移を比較し、非婚化・晩婚化を分析します。
転入者数	県「人口動態統計調査」 市「住民基本台帳」	● ● ●	転入者の世代ごとの転入理由や転入元を分析します。
転出者数	県「人口動態統計調査」 市「住民基本台帳」	● ● ●	転出者の世代ごとの転出理由や転出先を分析します。
DI 値（景気動向指標）	市「景気動向調査」	● ● ●	業種ごとの項目別 DI 値の推移を比較し、景況・不況を分析します。
市内総生産額	県「市町村民県民経済計算」	● ● ●	経済活動別の総生産額の推移を比較し、市内産業の動向を分析します。
製造品出荷額	経済産業省「工業統計調査」	● ● ●	業種ごとの出荷額の推移を比較し、動向を分析します。
就業者数 (総数・高齢者・女性)	総務省「国勢調査」	● ● ●	各世代の労働力率及び就業率を比較し、働き手の動向を分析します。
有効求人倍率	岐阜労働局「有効求人倍率の推移」 市「商工課調べ」	● ● ●	業種ごとの充足率と市内の人手不足実数の推移を分析します。
一人当たり市民所得	県「県民経済計算」 市「市税概要」	● ● ●	納税者一人当たりの市民所得の推移を比較し、変化率を分析します。
農業産出額	東海農政局「東海農林水産統計年報」	● ● ●	種別ごとの産出額の推移を比較し、市内農業の動向を分析します。
認定農業者数	市「農業振興課調べ」	● ● ●	地域毎の認定農業者数の推移を比較し、農業者の動向を分析します。
観光入込客数	市「観光課調べ」	● ● ●	観光施設ごとの入込客数の推移を比較し、傾向を分析します。

観測指標		計画開始時	分析のポイント
宿泊者数 (総数・外国人)	市「観光課調べ」	● ● ●	宿泊施設ごとの入込客数や、国別の宿泊者数の推移を比較し傾向を分析します。
空き家数	総務省「住宅・土地統計調査」	● ● ●	町ごとの空き家率の推移を比較し、動向を分析します。
要介護認定者数	市「地域包括ケア課調べ」	● ● ●	年齢や介護度別の認定者数を比較し、傾向を分析します。
消防団員数	市「消防年報」	● ● ●	分団ごとの年齢別団員数を比較し、将来の団員数推計等を分析します。
一人当たりゴミ排出量	市「環境課調べ」	● ● ●	種別ごとの排出量を比較し、変化率を分析します。

## 令和2年度 主要事業の概要（案）

この資料は、令和元年度第3回飛騨市総合政策審議会の資料です。内容は、予算要求ベースのものであり、現在も協議中のものであることから、今後は市全体の予算のバランスの中で、内容も含めた協議を進めていきます。

したがって、この資料に掲載した各事業は、**実施を決定するものではありません。**

お取扱いには十分ご注意ください。お願い致します。

令和元年12月12日



# 目次

## 【 政策の柱 】

### 元気な飛騨市をつくる

- ◎ **誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち** 1
  - 多様な人材が活躍する産業の支援
  - 少人数でも持続可能な産業の支援
- ◎ **変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち** 2
  - 新たな事業・商品・サービスを創造する事業者の応援
  - 自ら起業する人の支援と仕事づくり
  - 地域資源を活かした産業づくり
- ◎ **様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち** 3
  - 思い出に残る観光地づくり
  - 都市部への訴求力が高い農林畜産業づくり
  - 関係人口等との交流によるまちづくり

### あんな飛騨市をつくる

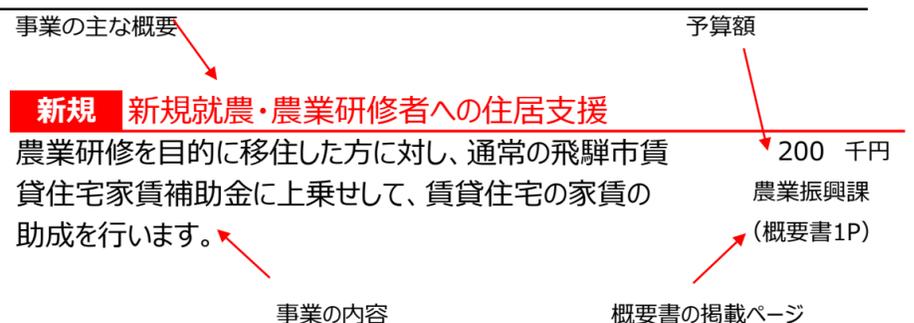
- ◎ **誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち** 5
  - 必要な医療・介護を受けられる体制づくり
  - 最期まで住み慣れた場所で暮らせる仕組みづくり
  - 弱い立場の方も一人ひとりありのままの自分を大事にされる環境づくり
  - 安心して暮らせる公共サービスづくり
- ◎ **お互いを家族のように思い、支えあえるまち** 7
  - みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり
  - 楽しく子育てできる環境づくり
- ◎ **生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち** 8
  - 全世代の健康づくり・体づくりの支援
  - どんな人でも自分のペースで活躍できる環境づくり

### 誇りの持てる飛騨市をつくる

- ◎ **子ども達の生きる力を地域一体で育む学び豊かなまち** 10
  - 未知の課題に立ち向かい自ら解決することのできる子ども達を育むまちづくり
- ◎ **一人ひとりの頑張りを応援し互いに尊敬しあえるまち** 10
  - 生涯学び自分を磨くことができる環境づくり
  - 個性あるまちづくり活動の促進
- ◎ **豊かな環境と個性ある地域資源を大切に誇る誇り高いまち** 11
  - 地域・文化資源を大切に自慢できる仕組みづくり
  - 豊かな自然と水を守り後世に引き継ぐ仕組みづくり

## 【 資料説明 】

- 新規** 新年度から新たにスタートする事業
- 改革** 今年度までの事業内容を改め改善させた事業
- 拡充** 今年度までの事業内容を拡張・充実させた事業
- 継続** 今年度までの事業内容を引き続き継続させる事業



# 令和2年度予算 主要事業の概要（案）

元気

元気な飛騨市をつくる

## 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち

### 多様な人材が活躍する産業の支援

企業の情報発信力の強化や意識改革を図り、外国人材を含む域外からの人材獲得を更に促進するとともに、障がいのある方、高齢者や子育て世代の女性など、あらゆる方々が自分にあった働き方ができるよう、受入企業や労働者の生活等を支援します。

#### 全ての産業における人手不足対策の推進

##### 新規 農業研修者への住居支援

農業研修を目的に移住した方に対し、通常の飛騨市賃貸住宅家賃補助金に上乗せして、賃貸住宅の家賃の助成を行います。

千円  
農業振興課

##### 新規 ひだキャトルステーションでの高校生短期研修の受入

ひだキャトルステーションや地元畜産農家と連携し、県内農林高校の短期研修を受け入れ、畜産農家での実践など、飛騨市独自の研修カリキュラムを実施します。

千円  
畜産振興課

##### 新規 産業獣医師の確保対策の推進

産業獣医師の確保のため、獣医師大学へのPRや、ひだキャトルステーションでのインターンシップ受入を行うとともに、奨学金の返済を支援します。

千円  
畜産振興課

#### 外国人材の更なる活用の推進

##### 新規 参加者募集型日本語教室の開催

北日本国際事業協同組合飛騨講習センターと連携し、外国人材の日本語レベルの向上を目的として、参加者募集型の日本語教室を開催します。

千円  
商工課

##### 新規 外国人材活用を検討している事業者等の意見交換会の開催

外国人材の採用に関するノウハウや情報を共有するため、採用している事業所と今後採用したいと考えている事業所の人事担当者等の意見交換会を開催します。

千円  
商工課

#### 誰もが働きやすい環境整備の推進

##### 拡充 インターンシップの活用を促進するセミナーの開催

##### 継続 女性・高齢者・障がい者の社会進出促進

#### 事業者等の情報発信力強化の推進

##### 新規 ひだキャトルステーション研修生募集WEBサイトの開設

ひだキャトルステーションの研修生募集のための専門WEBサイトを開設し、市外へのPR強化を図ります。

千円  
畜産振興課

##### 継続 企業の魅力的な情報発信力の強化

### 少人数でも持続可能な産業の支援

商業や農林畜産業、医療や介護など様々な分野におけるICT等の活用による省力化の支援を充実します。また、新たな担い手の確保と育成支援の充実を図る一方で、少人数、小規模で最大限の効果を生み出せる産業への転換を促進します。

#### 効率的な事業経営の推進

##### 新規 次世代の農業課題の調査研究

人手不足などに対する共同による省力化や、就農者の冬の仕事など、人口減少に起因する様々な課題の調査・研究を行います。

千円  
農業振興課

##### 新規 地元産良質堆肥の散布支援

畜産業が盛んな特徴を活かし、市内で生産される高品質な堆肥の循環を促進するため、大豆や水稲への地元産良品質堆肥の散布にかかる人件費等を支援します。

千円  
畜産振興課

##### 継続 古川町是重地区の土地改良整備事業

## 新技術の導入による省力化の推進

### 新規 スマート農業技術の導入支援

実証実験を行った水稲作付に関する水温等データ管理や、ドローンによる獣害防除、ハウス環境の遠隔管理・監視など、農業機器・機械等の導入を支援します。

千円

農業振興課

### 新規 地域における農作物の鳥獣防止対策研修会の開催

地域における農作物の鳥獣防止対策の必要性や、様々な事例などを研修会を通じて学びます。

千円

農業振興課

### 新規 ひだキャトルステーションへの牛体管理システムの導入

反芻・動態・横臥・起立など、牛の主要な行動を記録することで、AIが牛の異変を検知し、スマートフォンに通知するシステムを導入します。

千円

畜産振興課

## 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち

### 新たな事業・商品・サービスを創造する事業者の応援

これまでの常識にとらわれず、また、時代の潮流を捉えた新しい事業や商品、サービスの創造に挑戦する事業者を応援し、新技術の積極的な導入による経営拡大を支援するとともに、都市部や海外など、域外の新たなマーケットに訴求し売り出す仕組みづくりを推進します。

## 新たなマーケット開拓の推進

### 新規 特色ある製品・サービス等の知的財産権の取得支援

販路拡大の有効的なツールとして活用するため、事業者等の特許権、実用新案権、意匠権、商標権もしくは地理的表示保護登録に係る費用の一部を助成します。

千円

商工課

### 継続 寄り添い支援によるネットショップ人材の育成

### 継続 高付加価値化による市内産品の販路拡大

## 新たな革新技术の活用による経営拡大の推進

### 継続 飛騨市ビジネスサポートセンターによる寄り添い型経営支援

### 自ら起業する人の支援と仕事づくり

起業を検討されている方がチャレンジしやすい環境を整備するなど、受入環境の充実を図るとともに、事業を起こされた方々に対しては、地域からの仕事を供給するなど、地域全体で応援する体制づくりを推進します。

## 新たな起業者の育成と受入環境整備の推進

### 継続 地域おこし協力隊の定住・起業支援

### 継続 起業をされる方への店舗整備費等の支援

## 地域から仕事を供給する体制整備の推進

### 継続 首都圏等からの副業・兼業の受入強化

### 地域資源を活かした産業づくり

当市面積の93%を占める森林のうち、その約70%を占める豊富な地域資源である広葉樹をブランディングし、新たな産業として確立するほか、薬草やえごまなど当市の特徴のある地域資源から新たな産業を生み出します。

## 広葉樹を活用した産業・まちづくりの推進

### 新規 小径広葉樹の市内流通・加工による販路開拓

飛騨市における小径木広葉樹の新たなサプライチェーン構築を進め、市内における小径広葉樹材流通量の増による新たな経済循環の創出を図ります。

千円

林業振興課

### 新規 森林文化アカデミーと連携した林業技術者の確保

市内における担い手確保を推進するため、岐阜県立森林文化アカデミーと連携し、市内就職者には奨学金返還を免除する新たな奨学金制度を創設します。

千円

林業振興課

### 新規 飛騨市広葉樹林を活用した林業技術者の育成

広葉樹施業のノウハウを有した人材を育成するため、岐阜県立森林文化アカデミーと連携し、市内実証林において年間を通じた研修を実施します。

千円

林業振興課

### 新規 飛騨市広葉樹のまちづくりツアーの開催

広葉樹の活用に興味・関心を持ち、様々な連携ができる仲間を全国に増やすため、市内製材所や森林施業現場等を見学するツアーを実施します。

千円

林業振興課

### 新規 飛騨市広葉樹のまちづくりPRツールの作成

これまでの取り組みや実績、今後目指す広葉樹のまちづくりのコンセプトを改めて整理し、それらを分かりやすく伝えることができるツールを制作します。

千円

林業振興課

### 新規 小径広葉樹材の高付加価値化による商品開発研究

小径広葉樹材の新たな活用方法に関する試験研究を実施し、製紙用または燃料用チップなどより高価格で販売できる新商品の開発を行います。

千円

林業振興課

### 新規 行政書士と連携した森林所有者の特定

森林整備の最優先課題である所有者不明森林の解消を図るため、県行政書士会と連携して森林所有者の特定を行います。

千円

林業振興課

### 新規 森林経営管理制度による民有林のモデル整備

飛騨市の森林の状況に合った森林整備のため、モデル地区を定め、広葉樹天然林も含めた森林の一体的な整備を行います。

千円

林業振興課

### 拡充 新たな自治体との姉妹森協定による連携

### 拡充 広葉樹の小規模森林整備の促進

### 継続 広葉樹のまちづくりセミナーの開催

## 薬草やえごまを活用した産業・まちづくりの推進

### 新規 薬草を活用した料理の飲食店等への普及推進

家庭の食卓に薬草料理を取り入れていただくための家庭料理教室や、飲食店や宿泊施設での常設メニュー化への支援に官民一体で取り組みます。

千円

地域振興課

## 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち

### 思い出に残る観光地づくり

飛騨市が持っている魅力をブラッシュアップし効果的に発信することで、他の観光地との差別化を図るとともに、訪日外国人を含む観光客の体験消費（コト消費）の拡大を目的として、体験型コンテンツの増加と市場拡大を促進し、誰もが行ってみたいくなる観光地づくりを推進します。

## 観光客のニーズに合わせた受入環境整備の推進

### 新規 飛騨市観光WEBサイト英語版のリニューアル

観光サイト「飛騨の旅」英語版の全面リニューアルを行い、併せて、外国人ライターによる食やイベント等の記事を投稿し、外国人目線で魅力的な情報を発信します。

千円

観光課

### 新規 コンベンション利用施設のWi-Fi環境の整備

会議系のコンベンション誘致を推進するため、分科会開催やプレゼン発表時等に活用できるWi-Fi環境を飛騨市文化交流センター等に整備します。

千円

管財課

### 新規 飛騨市観光戦略プランの策定

観光客のニーズの多様化及びインバウンド観光客の増加などを踏まえ、交流人口拡大・域内消費の増加を目的とした実効性のある観光戦略を策定します。

千円

観光課

### 新規 神岡地区の魅力あるまちづくり基本計画の策定

今後の神岡のまちづくりについて「神岡の街づくりを考える会」からいただいた提言をもとに、市のランドデザインを描き、令和3年度からの具体の展開に繋がります。

千円

神岡振興事務所

### 新規 池ヶ原湿原の休憩スペースの設置

来場者の滞在時間延長を図るため、来場者に「見る」だけでなく、「匂いもの食べる」楽しみも満喫していただけるよう、簡易な休憩スペースを設置します。

千円

宮川振興事務所

### 拡充 国際会議等を含むコンベンション受入支援の拡充

### 拡充 飛騨市観光Wi-Fiエリアの拡張

## ヒト・モノ・コトを楽しむ新たな観光コンテンツの開拓推進

### 新規 古川まつり広場を活用した定期イベントの試験実施

古川まつり広場の活用をテーマに、手軽に出店等ができるよう電源設備を整備し、月1回のマルシェを試験的に夏期～秋期にかけて実施します。

千円  
観光課

### 新規 飛騨古川まつり会館を活用した企画展等の開催

展示装飾リニューアルを実施した古川まつり会館を起点とした集客対策として、オープニングイベントを含めた期間限定の企画展を年間通して実施します。

千円  
観光課

### 新規 県内自治体との連携によるロケツーリズムの推進

令和元年度に県内複数の自治体によって設立した「ぎふロケツーリズム協議会」により、セミナーや先進地視察、制作者との商談会等を実施します。

千円  
観光課

### 新規 飛騨みんなの博覧会メニューの常設化支援

市内に飛騨みんなの博覧会から生まれたプログラムなどの常設に向けたサポートを行うとともに、ツアーデスク機能を持った拠点を整備します。

千円  
観光課

### 新規 飛騨市観光大使との連携による市の魅力PR

発信力のある観光大使に定期的に市の特産品をモニターしていただき、SNS等を活用してPRを行うほか、イベント等での市民交流、パンフ等のモデル起用を行います。

千円  
観光課

### 新規 クアオルト健康ウォーキングを活用したヘルスツーリズムの推進

飛騨市健康ウォーキングガイド協会による独自コースの設定や、地元食材を使った弁当の開発など、健康・観光・環境の三本柱によるヘルスツーリズムを推進します。

千円  
スポーツ振興課

## 都市部への訴求力が高い農林畜産業づくり

飛騨市産の安心安全で美味しい農畜産物に付加価値を付け、都市部等への差別化を重視した売り込み方を検討するとともに、地域の伝承作物を含めた安心安全な野菜の地域内循環を図り、あわせて商品を手に取りやすい環境整備を推進します。

## 飛騨米など農作物の高付加価値化による販路拡大の推進

### 新規 朝開農産物直売施設の移転新築にかかる設計

農産加工物の外商強化のため、朝開町農産物直売施設の老朽化に伴って、道の駅アルプ飛騨古川へ移転新築するための測量設計を行います。

千円  
農業振興課

### 新規 地元農産物の市内流通プラットフォームによる活用普及

地元生産の農畜産物を、市内の旅館や飲食店で活用してもらうため、試食会の開催やメニュー開発等を行い、地元食材の普及を促進します。

千円  
農業振興課

### 拡充 観光客に向けた飛騨野菜の収穫体験ツアーの開催

## 飛騨牛など畜産の生産体制強化と新たなブランド開発の推進

### 新規 飛騨牛白血病の検査体制の強化

5年での飛騨牛白血病ゼロ（白血病フリー）を目指し、市内畜産農家が行う抗体検査や抗原検査にかかる費用を助成します。

千円  
畜産振興課

### 新規 飛騨経産肥育牛のブランディング

これまで廃棄処分されていた経産牛を肥育し販売するため、市内のホテルや飲食店を対象とした試食会を開催するとともに、PR販促グッズ等を作成します。

千円  
畜産振興課

### 新規 飛騨市家畜診療所の開設

飛騨農業共済事務組合の解散に伴い、飛騨市家畜診療所を飛騨農協吉城営農センター内に設置し、4月から診療体制を整えます。

千円  
畜産振興課

### 拡充 飛騨地鶏の地域内活用のための試食会等の開催

## 関係人口等との交流によるまちづくり

観光以外にも飛騨市に関心を持ち訪れていただける「関係人口」の増加を図り、地域づくりや産業振興のお手伝いにつなげるとともに、全国の様々な自治体や企業等との連携を強化し、相互交流による人づくりを推進します。また、移住促進や移住後の困り事に寄り添い生活の不安解消を図る取り組みを推進します。

## 関係人口との関係深化によるまちづくりの促進

### 新規 「関わりしろ」を案内する関係案内所の開設

地域・市民が持つ課題等を整理してメニュー化し、飛騨市ファンクラブ会員等とのマッチングを行う「関係案内所」を市役所地域振興課に設置します。

千円  
地域振興課

### 新規 飛騨市ファンクラブマイスタープログラムの実施

市内事業者等が講師となり、事業者の熱心なファンとなるファンクラブマイスターを養成し、更なる飛騨市の魅力PRを行います。

千円  
地域振興課

**新規** ふるさと種蔵村やりたいこと計画のプラットフォーム整備

ふるさと種蔵村村民や地域住民等が互いにやりたいことややってほしいことについて、WEBを活用してマッチングさせる仕組みを、大学と連携して構築します。

千円  
宮川振興事務所

**拡充** 飛騨市ファンクラブ特産品購入支援の対象店舗拡充

## 連携・提携等による交流の推進

**新規** 大学との連携による地域課題解決活動の支援

市内を学生のフィールドワークの場として活用してもらい、地域活性化や市内就職を促進するため、市内での就職やインターンシップ、研究活動を支援します。

千円  
地域振興課

**新規** 台湾新港郷との相互交流ファンクラブの創設

飛騨市と新港郷の交流を促進するファンクラブを創設し、互いの活動を紹介するニュースレター等を取り取りするとともに、産業や文化面での新たな交流を模索します。

千円  
総合政策課

## 移住・定住の促進

**拡充** 移住コンシェルジュの神岡地区への配置**あんき** あんきな飛騨市をつくる

## 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち

## 必要な医療・介護を受けられる体制づくり

医療・介護の喫緊の課題である人材不足について、外国人の活用も含め全力で取り組みます。また、飛騨市全域を地域包括ケアが学べる最適な実習フィールドとして整備し、研修医や医療・介護専門職に訴求するなど、全国一の支援体制構築を推進します。

## 医療・介護職等の人材確保の推進

**新規** 外国人への日本語学習等を行う法人への支援

介護は、高い日本語能力を求められることから、現場入りしてから日本語能力を育成することができる特養施設等の体制づくりを支援します。

千円  
地域包括ケア課

**新規** 民間事業所におけるケアマネージャー確保対策の支援

ケアマネを新規増員した際の赤字補填を一定期間支援するとともに、増員に伴い発生するPC購入やシステム導入にかかる費用の一部を支援します。

千円  
地域包括ケア課

**新規** 介護保険ケアマネージャーの資格更新等の支援

ケアマネ資格の有効期限が切れた方の資格再取得を支援するとともに、現役ケアマネの資格更新については事業所が負担する受講費用等を支援します。

千円  
地域包括ケア課

**新規** 介護保険要支援者用ケアプランの作成支援

介護度要支援1・2のケアプランについて、一定数以上のプラン作成を受託する民間居宅介護支援事業所への委託料の上乗せ制度を創設します。

千円  
地域包括ケア課

**新規** 専門人材に特化した婚活の支援

市民団体や法人等が行う婚活イベント等の費用の一部を助成するとともに、結婚のお世話を焼こうとしている方の相談会を新たに実施します。

千円  
地域包括ケア課

**拡充** 遠方でのケアマネジメントにかかる費用の助成**拡充** 特養夜勤者処遇改善臨時交付金の対象施設拡充**拡充** 帰郷意向の介護福祉士養成校在学者の生活支援拡大**継続** 患者と家族を支える「里山ナース」の育成

## 市外医療機関との連携の推進

**新規** JA岐阜厚生連看護専門学校の運営支援

地域の看護師確保のため必要な施設であり、飛騨地域内で唯一の看護師養成施設であるJA岐阜厚生連看護専門学校の運営を2市1村で支援します。

千円  
地域包括ケア課

**継続** 富山大学と連携した健康づくり中核人材の養成

## 最期まで住み慣れた場所で暮らせる仕組みづくり

最後まで自分が生まれ育った家で安心して暮らすことができるよう、様々な生活支援の充実を推進するとともに、亡くなられた方の遺族の不安軽減を支援します。

## 高齢者の生活支援と見守り体制強化の推進

### 新規 買い物のための送迎を自商店で行う民間事業者への支援

自らの商店利用や施設利用の送迎の際にスーパー等で  
買い物もするなど、送迎を行う商店や施設等に対し、そ  
の送迎にかかる費用の一部を助成します。

千円  
地域包括ケア課

### 新規 自動車の急発進防止装置の取付助成

高齢者の交通事故抑制のため、アクセルとブレーキのふみ  
間違いを防止する急発進防止装置の取り付けや、補聴  
器の購入費用の一部を助成します。

千円  
地域包括ケア課

### 新規 山之村地域での準介護サービスの試験運用

山之村診療所を活用して、生きがい通所サービスや訪問  
型サービス等の準介護サービスの試験運用を行い、通所  
介護の運営や入浴サービス等の対応を検証します。

千円  
地域包括ケア課

### 新規 介護をされている世帯へのおむつ用ごみ袋の支援

ケアマネージャーにより常時おむつが必要と判断される方  
を在宅介護される世帯を対象に、おむつを処分するた  
めのごみ袋を年間100袋進呈します。

千円  
環境課

## 残された遺族を支える終活支援体制の強化の推進

### 継続 飛騨市終活支援センターの運営と各種セミナーの開催

## 弱い立場の方も一人ひとりありのままの自分を大事にされる環境づくり

弱い立場の方、障がいのある方、ひとり親家庭、生きづらさを抱える方たちも、それぞれの居場所・ペースで安心して就労・社会参加ができる環境を整備するとともに、安心して過ごすことができる居場所づくり、生涯安心して暮らせる環境整備を推進します。

## 障がいのある方の生活環境整備と雇用拡大の推進

### 新規 障がい児等の通所費用の支援

事業所への送迎という保護者の負担を少しでも軽減する  
ため、交通費助成を行い、適切な療育が受けられるよう  
に支援します。

千円  
障がい福祉課

### 新規 障がいのある方を支える世帯へのおむつ用ごみ袋の支援

日常生活用具給付事業で紙おむつの支援を受けられて  
いる障がいのある方を支える世帯に対し、おむつを処分す  
ためのごみ袋を年間100袋進呈します。

千円  
環境課

### 新規 各振興事務所での遠隔手話通訳による窓口整備

ハートピア（設置通訳者）と、各振興事務所（聴覚障  
がい者と職員）との間で、ICTを使った手話によるコミュニ  
ケーションを行う環境を整備します。

千円  
障がい福祉課

### 新規 （仮称）飛騨市基幹相談支援センターの開設準備

途切れなく生涯一貫した支援体制により、障がいのある  
方のみならず家族全体を支える「飛騨市基幹相談支援  
センター」を設置するための準備を行います。

千円  
障がい福祉課

### 新規 第2期生涯安心計画・生涯安心こども計画の策定

障がいのある方が自らの望む地域生活が営むことができ  
よう、障がい児のサービスに係る提供体制の計画的な構  
築を推進するため、計画を作成します。

千円  
障がい福祉課

### 拡充 障がい児者支援事業所の参入促進助成の拡大

### 拡充 障がい者日常生活用具給付等事業の拡充

### 拡充 発達支援センター相談及び対応体制の充実

### 拡充 衣類リサイクル回収所を活用した障がい者就労支援

## 弱い立場の方や暮らしに困難を抱える方への支援の拡大

### 新規 閉じこもりの方の支援者ネットワーク体制の強化

多職種・多機関による支援連携ネットワーク「地域支援  
会議」を立ち上げ、実践ケースを通じた助言や考え方など  
を学び、支援者のスキル向上を図る体制を構築します。

千円  
地域包括ケア課

### 新規 支援が必要な児童への公認心理師による支援

子どもにまつわる様々な心の支援が必要な児童に対し、  
医療分野だけにとどまらない支援体制を強化するため、  
発達支援センターに公認心理師を配置します。

千円  
地域包括ケア課

### 新規 学びたい意欲がある生徒への学習支援体制の強化

教員免許を持ったスタディーサポーターを各中学校に配  
置し、学びたい意欲があっても何らかの理由により支援が  
必要な生徒の学習支援体制を強化します。

千円  
学校教育課

### 拡充 小中のつなぎ連携による不登校児等への支援

## 安心して暮らせる公共サービスづくり

水道・道路・公共交通・除雪・ゴミ処理など、必要な生活サービスを安定的に提供するとともに、施設の休止・廃止・統合等による最適化を実施し、暮らしに必要な公共サービスを維持できるよう計画的な取り組みを推進します。

### 暮らしに必要な公共サービスの維持と人材確保の推進

#### 新規 新公共交通網計画に沿った路線バス等の運行

令和元年に策定した新網形成計画により、令和2年10月分から新たなダイヤにより市営バスや循環乗合タクシーを運行するとともに回数券を導入します。

千円

総務課

#### 新規 総合福祉拠点施設ハートピア古川のリニューアルに向けた設計

福祉関係の総合拠点施設として、ハートピア古川をリニューアルし、令和4年度に改修工事に着工できるよう改修計画と基本設計・実施設計を行います。

千円

地域包括ケア課

#### 新規 し尿処理施設の統廃合を見据えた調査設計

老朽化が著しい北吉城クリーンセンターをみずほクリーンセンターに統合するにあたり、中継所として活用するための調査設計を行います。

千円

環境課

#### 新規 下水道重要幹線等の耐震化

古川処理区及び船津処理区の重要幹線約5kmを対象として耐震化（管口可とう管化）実施設計を行い、令和3年度以降に耐震化工事を順次実施します。

千円

水道課

#### 新規 除雪管理システムの導入

1日の除雪作業時間や除雪路線を素早く確実に報告し、音や画面で安全管理できるシステムを導入することで、除雪業務の安全と効率化をサポートします。

千円

建設課

#### 新規 市議会へのタブレット導入による省力化

令和2年6月議会を目途に、タブレット端末の導入による議会のペーパーレス化を行い、事務の効率化とコスト削減、省資源化を図ります。

千円

議会事務局

#### 継続 生活を支える道路・橋梁などの基盤整備

#### 継続 市道の安定的な除雪

### 安心して暮らせる環境整備の推進

#### 新規 高齢者や障がいのある方、子育て世代に配慮したトイレの整備

誰もが利用しやすい環境を整備するため、市有施設等トイレについて、洋式化やベビーベッド等の整備を重点的に実施します。

千円

管財課

#### 拡充 住宅性能向上リフォーム補助制度の対象拡充

## お互いを家族のように思い、支えあえるまち

### みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり

コミュニティの維持が自主防災組織の育成と支援体制の強化につながることから、交流できる場の創出など様々な工夫によりコミュニティの形成を図る市民の取り組みを促進するとともに、自治組織の組織化や体制維持を支援します。

### コミュニティの強化と持続可能な体制整備の推進

#### 新規 集落有施設の備品購入の支援

持続可能なコミュニティ強化と防災体制づくりのため、各地区が所有する公民館等のテーブルやイスの更新等にかかる経費の一部を支援します。

千円

生涯学習課

#### 新規 集落有施設のバリアフリー等整備の支援

持続可能なコミュニティと防災体制強化のため、各地区が所有する公民館等のトイレ洋式化やバリアフリー化、冷房設備の設置等にかかる経費の一部を支援します。

千円

生涯学習課

### 地域防災力強化の推進

#### 新規 専門講習による防災士のフォローアップ研修の実施

防災リーダー養成講座修了者（防災士資格取得者）に対し、「気象」など専門的な要素を含んだフォローアップ研修を実施します。

千円

危機管理課

#### 新規 災害時の電力供給応援のための電気自動車の購入支援

市民の電気自動車購入を支援し、避難所等が停電した際には、可能な範囲で電気自動車からの電力供給に協力いただく仕組みを構築します。

千円

危機管理課

#### 新規 庁舎非常用電源設備の整備

災害等による停電時に、災害対策本部等として最低限運営することができる電力を供給するため、自家発電機を本庁舎、宮川・神岡振興事務所に新設します。

千円

管財課

#### 新規 避難所でのマンホールトイレシステムの整備

被災時における避難場所のトイレ不足対策として、市内10箇所（古川5、神岡5）にマンホールトイレシステムを整備するための詳細設計を行います。

千円

水道課

**新規** **消防団強化のための処遇改善**  
 働く世代の減少を見据えた消防団組織の強化のため、消防団の出動手当を増額し、処遇改善による団員のモチベーション維持を図ります。  
 千円  
 消防本部

**新規** **女性消防団員の確保と活躍の場の創出**  
 女性消防団員確保のため、お試し入団制度を創設し、行事の見学や全国女性消防団活性化大会に参加することで、理解と興味を深めてもらい入団につなげます。  
 千円  
 消防本部

**拡充** **消防団活動装備品・資機材の充実**

**拡充** **富山大学と連携した市内断層調査**

**拡充** **福祉避難所等への防災備蓄品の計画的拡充**

**拡充** **防犯カメラの追加設置及び市内団体等への助成**

## 楽しく子育てできる環境づくり

ベビーシートや授乳室、子ども達の遊び場、居場所等、子どもを連れて出かけたい環境の整備と、子育て世代の経済負担の軽減を図ります。また、出産前後や子育て期の保護者の不安を取り除く相談支援体制を強化し、地域全体で安心して楽しく子育てができる環境整備を推進します。

### 子育て環境充実の推進

**新規** **子育て世帯へのおむつ用ごみ袋の支援**  
 おむつが必要な乳幼児を養育する世帯に対し、保健師による新生児訪問時等のタイミングで、おむつを処分するためのごみ袋を年間100袋進呈します。  
 千円  
 環境課

**新規** **赤ちゃん防災士による産前産後の防災支援**  
 防災士資格を持った助産師により、防災に関する研修などを行うほか、赤ちゃん防災パンフレットの作成や、避難用携帯グッズの提供を行います。  
 千円  
 市民保健課

**新規** **高校生世代までの医療費の支援**  
 中学校卒業後の18歳到達後最初の3月31日までの高校生世代の方に対し、医療機関等での保険診療にかかる一部負担金を助成します。  
 千円  
 市民保健課

**新規** **天候を気にせず遊べる場の整備**  
 ハートピアの多目的ホールを平日に加えて土・祝日も開放し、予約不要で天候を気にせず誰でも気軽に遊ぶことのできる環境を整備します。  
 千円  
 子育て応援課

**新規** **子育て世代に配慮した都市公園の整備**  
 都市公園の遊具更新やトイレの洋式化、ベビーベッドの設置など、子育て世代に配慮した遊びやすく使いやすい都市公園の整備を推進していきます。  
 千円  
 都市整備課

**拡充** **インフルエンザ予防接種の対象年齢拡大**

### 産前産後の支援体制強化の推進

**新規** **神岡地区でのおでかけママサロンの実施**  
 神岡町子育て支援センターへ助産師を派遣し、妊婦及び1歳未満の子を持つ母親への相談などの支援を行う「おでかけまるん」を開始します。  
 千円  
 市民保健課

**拡充** **ロタウイルスワクチン予防接種費用の助成拡大**

### 教育環境向上の推進

**拡充** **育英基金貸付生地元就職補助金の対象校の拡充**

## 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち

### 全世代の健康づくり・体力づくりの支援

生活習慣病予防のための生活習慣改善に向けた保健事業の充実を図るとともに、ウォーキングを始めとした運動やスポーツに気軽にチャレンジできる環境づくりを推進します。あわせて、高齢者の体力維持のための運動・リハビリにも力を入れることで、健康寿命の延伸を推進します。

### 生活習慣改善の推進

**新規** **減塩調味料による減塩の推進**  
 市民が気軽に減塩食品を手にとることができるような環境づくりを進めるとともに、減塩市民モニターを募集し、減塩醤油の使用前後の血圧測定を実施します。  
 千円  
 市民保健課

**拡充** **国民健康保険人間ドック費用の助成拡大**

**拡充** **歯科検診の対象者拡大**

## 高齢者のリハビリ等軽運動と生きがいつくりの推進

### 新規 介護プランへの口腔ケア導入促進

口腔ケアを積極的にケアプランに位置づける民間居宅介護支援事業所を支援し、口腔ケアの必要なへ歯科受診を経て歯科と連携する仕組みを作ります。

千円  
地域包括ケア課

### 新規 高齢者の通いの場での口腔ケア指導の実施

高齢者の通いの場やサロン等々に歯科衛生士等の専門家が訪問し、口腔ケア教育や相談を行います。

千円  
市民保健課

### 新規 後期高齢者への保健事業の実施

後期高齢者医療制度移行後も継続して個別訪問等を実施し、健康教育・健康相談などの保健事業を行うことで、疾病・生活全般の相談支援を行います。

千円  
市民保健課

### 新規 シルバーリハビリ体操指導士の養成

高齢者等に必要なりハビリのエッセンスを伝達・普及する「シルバーリハビリ体操士」を養成する講座を、県理学療法士協会と連携して開催します。

千円  
地域包括ケア課

## スポーツを通じた健康増進の推進

### 新規 ねんりんピック岐阜2020の開催

「ねんりんピック岐阜2020」の開催により、飛騨市でサッカー競技を実施することから、全市挙げてのおもてなし強化と飛騨市のPRを行います。

千円  
スポーツ振興課

### 新規 妊婦さんを対象とした健康ウォーキングの実施

出産に備えた体力づくりと適度な運動による体重管理等を目的として、妊婦を対象に安全に配慮した健康ウォーキング教室を開催します。

千円  
スポーツ振興課

### 新規 屋内運動場整備のための基本設計の実施

森林公園内における新たな全天候型屋内体育施設の整備に向け、既存施設の解体設計や新施設建設に係る基本設計を実施します。

千円  
スポーツ振興課

### 新規 古川トレーニングセンターのリニューアルに向けた設計の実施

飛騨市スポーツ施設整備計画に基づき、古川トレーニングセンター 2 階のトイレ等を改修するとともに、アリーナ等

千円  
スポーツ振興課

## どんな人でも自分のペースで活躍できる環境づくり

性別や年齢、国籍や障がいの有無などに関わらず、誰もが楽しく交流・連携できる居場所づくりと、高齢者や障がいのある方が自分のペースで社会に参画し、無理なく活躍することで生きがいと活力を見出せる環境づくりを推進します。

## 誰もが活躍できる仕組みづくりの推進

### 新規 飛騨市長杯の支援

技能の向上や融和の場の拡充につなげるため、教育・学術・スポーツ・文化などにおける「市長杯」のカップ、トロフィーの提供や賞状交付の助成を行います。

千円  
秘書広報課

## 誰もが無理なく楽しめる場づくりの推進

### 新規 割石温泉を活用した子どもと高齢者が集う場の検討

子どもの利用者が増加している割石温泉を活用し、子どもと高齢者が気軽に触れ合い、様々な交流を行うことができる環境づくりを検討します。

千円  
地域包括ケア課

## 誇り 誇りの持てる飛騨市をつくる

## 子ども達の生きる力を地域一体で育む学び豊かなまち

## 未知の課題に立ち向かい自ら解決することのできる子ども達を育むまちづくり

市内の保育園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校を一つの学園に見立てた一貫連携教育構想、「飛騨市学園構想」を推進し、一貫カリキュラムによる教育やコミュニティスクールの導入、ICTを活用した各校種間交流等の実施により、未知の課題に立ち向かい自ら解決することのできる課題解決型人材の育成を推進します。

## 飛騨市学園構想の推進

**新規** **プロジェクトマネージャーの配置による飛騨市学園構想の推進**  
飛騨市学園構想が理想とする未来の創り手像の育成を  
目指し、独自カリキュラムと実際の教育現場を繋ぎ、地  
域等が一体となった教育基盤の構築を図ります。  
千円  
学校教育課

**新規** **地域学校協働活動推進員の配置によるコミュニティスクールの推進**  
地域住民のネットワーク（＝地域学校協働本部）と学  
校をコーディネートをする「地域学校協働活動推進員」を  
小学校区・中学校区に配置します。  
千円  
生涯学習課

## 飛騨市ならではの教育と環境整備の推進

**新規** **小学校への英語教育指導員の配置による英語教育の充実**  
教員等の指導力の向上を目的に「英語教育指導員」を  
配置し、教員等への指導助言や授業研修、示範授業  
の実施、ALTの有効活用等を支援します。  
千円  
学校教育課

**新規** **プログラミング教育環境の整備**  
プログラミング教材を整備し、新学習指導要領に対応し  
た学習を進めるとともに、先進地視察や各種研修参加を  
通じてプログラミング教育の核となる教員を育成します。  
千円  
学校教育課

**新規** **ふるさと納税を活用した地元食材による「ありがとう給食の日」**  
ふるさと納税を活用し、地元食材を使ったメニューや季節  
のデザート等を提供することで、給食が学校に行く楽しみ  
に繋がる「ありがとう給食の日」を実施します。  
千円  
教育総務課

**拡充** **ICTを活用した授業づくりの環境整備**

**拡充** **学校図書館情報センター機能整備の拡充**

**拡充** **飛騨地鶏を使った学校給食によるふるさと食育**

**拡充** **古川西小学校・河合小学校体育館の非構造部材耐震化**

**拡充** **児童生徒支援員の研修体制強化**

## 部活動や学校外での活動支援の推進

**継続** **部活動指導員の配置**

**継続** **部活動備品購入・大会出場への支援**

## 一人ひとりの頑張りを応援し互いに尊敬しあえるまち

### 生涯学び自分を磨くことができる環境づくり

どんな世代でも、楽しく学び、自分を磨きながら様々な人と交流することで新たな仲間づくりができる場を整備します。また、市民が気軽に文学や音楽、芸術などに触れる機会を増やすことで、新たなまちづくりが生まれるきっかけづくりを促進します。

## 生涯にわたって学べる環境整備の推進

**新規** **飛騨市民大学（仮称）構想のプレ開校**  
市民が学びたい内容とカリキュラムを持つ生涯学習講  
座を整理し、「飛騨市民大学」として全世代が楽しく学ぶ  
ことができる環境を整備します。  
千円  
生涯学習課

**新規** **一流講師陣による学びの提供**  
飛騨・世界生活文化センターと連携し、飛騨市民大学  
（仮称）のメニューとして、普段飛騨市では学べない大  
学教授陣による講座を開講します。  
千円  
生涯学習課

**新規** **電子書籍の試験運用**  
図書館利用者の電子書籍に関するニーズを調査するた  
め、タブレット貸し出し方式により試験的に電子書籍シ  
ステムを導入します。  
千円  
文化振興課

**拡充** **荒垣秀雄顕彰としての文学教室等の開催**

## 趣味を楽しみ文化芸術に触れる環境整備の推進

**新規** **真夏の夜のコンサート20周年記念イベントの開催**  
例年開催している「真夏の夜のコンサート」の20周年を  
記念し、飛騨市文化交流センターホワイエにおいて、演  
奏者19名による特別演奏会を開催します。  
千円  
河合振興事務所

**新規** **飛騨河合音楽コンクール受賞者記念リサイタルの開催**  
飛騨河合音楽コンクールの魅力アップのため、コンクール  
受賞者の記念リサイタルを飛騨市文化交流センター小  
ホールで開催します。  
千円  
河合振興事務所

**新規** **飛騨市美術館リニューアルの実施設計**  
空調設備の更新をはじめ収蔵庫の拡張など、現在の美  
術館が抱える諸課題の解消に向けた美術館リニューアル  
の実施設計を行います。  
千円  
文化振興課

**新規** **飛騨みやがわ考古民俗館のPR強化**  
小規模ミュージアムネットワークが主催する「小さいとこサ  
ミット」を誘致し、全国の関係者にPRを行うとともに、首都  
圏でのPRイベントやバックヤードツアーを開催します。  
千円  
文化振興課

## 個性あるまちづくり活動の促進

それぞれのまちづくり活動同士を広く周知し、お互いのまちづくり活動を知り、交流できる仕組みを構築することで、互いに応援し評価しあえる環境づくりを推進します。また、まちづくりを担う新たな人材の発掘と育成を行うことで、誰でもまちづくりに気軽に参加できる機運醸成を促進します。

### まちづくりを担う人材の発掘・育成の推進

#### 新規 ふるさと納税を活用したまちづくりの支援

ふるさと納税の活用目的に市民のまちづくり事業を個別に追加し、寄付額から諸経費等を除いた額の5割を補助金として団体等に支援する仕組みを構築します。

千円  
地域振興課

#### 改革 小さなまちづくり応援補助金のリニューアル

小さなまちづくり応援補助金制度を、今までのプレゼン審査形式の部門を残しつつ、小さな額で様々な方に支援する部門を新設し、申請作業の簡素化を図ります。

千円  
地域振興課

### 地域のまちづくり活動の連携と創出促進

#### 新規 市民のまちづくり活動拠点の整備

「ひだプラス」により、市民のまちづくり活動の相談やSNS等を活用したPR、資料のコピーやワーキングスペースの活用等の支援を行う拠点を整備します。

千円  
地域振興課

## 豊かな環境と個性ある地域資源を大切にす誇り高いまち

### 地域・文化資源を大切に自慢できる仕組みづくり

当市にしかない地域資源を継承し存続させていく仕組みの構築と、新たな歴史資源等の掘り起こしを推進します。また、こうした地域資源の魅力を広く全国・世界に発信することで飛騨市の認知度向上を推進します。

### 新たな地域資源・歴史資源創出と掘り起こし・磨き上げの推進

#### 新規 天生の森の木道等の整備ワークショップの開催

持続可能な森づくり推進のため、近自然工法による遊歩道の維持補修や、溪流における護岸整備についてワークショップを開催し、技術伝承の後継者を育成します。

千円  
河合振興事務所

#### 新規 天生の森の緊急避難道等の安全対策の強化

令和元年7月に発生した遭難を教訓に、緊急避難道の整備や無線機の配備、わかりやすいサインシステムの設計等の安全対策を優先的に行います。

千円  
河合振興事務所

#### 新規 止利伝説の伝承

伝説語り部の後継者を育成するとともに、河合町の子ども達に伝説を知ってもらい、ふるさと伝説に触れることにより誇りを醸成する取り組みを推進します。

千円  
河合振興事務所

#### 新規 江馬氏城館跡公園の活用検証イベントの開催

江馬氏城館跡公園の利活用を調査するためのイベントを定期的に開催し、不便さや不具合の検証を行うことで、次年度以降の江馬氏館跡公園の活用に繋がります。

千円  
文化振興課

#### 新規 清流みやがわ鮎の販路拡大のための設備支援

清流みやがわ鮎をふるさと納税の返礼品として全国に広めるため、宮川下流漁業協同組合と連携し、鮎を保管する機器を購入支援を行います。

千円  
宮川振興事務所

#### 新規 飛騨まんが王国声優バスツアーの開催

大手声優事務所と連携し、人気声優と一緒に飛騨まんが王国に宿泊し、市内イベント等を見学するバスツアーを実施します。

千円  
宮川振興事務所

#### 新規 首都圏でのイベントによるRMTBのPR

毎年8月の夏休み期間中に開催される「こども霞が関見学デー」にNPOとの連携により出展し、ルールマウンテンバイクのPRを実施します。

千円  
神岡振興事務所

#### 新規 山之村地区の未活用資源の発掘及びブランディング

地域おこし協力隊の活用により、山之村地区未活用資源の発掘及び魅力の再発見と、活用による新商品の開発と販売活動を行います。

千円  
神岡振興事務所

#### 新規 高野千本桜夢公園の遊歩道整備

公園の利便性向上のため、遊歩道の整備を行うとともに、今後の中長期的な整備と活用の方向性を「第二期整備活用計画」としてまとめます。

千円  
林業振興課

## 文化資源継承の推進

### 新規 地域伝統芸能の保存継承のための支援

地域固有の伝統芸能等の保存・継承のために活動している団体等に対し、楽器や衣装等用具の購入に係る費用などの一部を支援します。

千円

文化振興課

### 新規 深山邸の利活用検証

深山邸の必要最低限の改修と、地域振興に活用するための様々な事業を検証するプロポーザルを実施し、神岡地区の拠点として活用を検討します。

千円

神岡振興事務所

## 豊かな自然と水を守り後世に引き継ぐ仕組みづくり

下水道網の完備や環境に配慮したエネルギー産業の推進、ゴミの減量化などの取り組みを着実に実行することで、飛騨市の93%を占める豊かな森や、その森が生み出すミネラル豊富な水、そして水が育む動植物を大切に守り、後世に引き継ぐ仕組みの構築を推進します。

## ゴミの減量化の推進

### 新規 エコイベントの開催

リユースの推進を図るため、民間団体等と連携したエコフリーマーケットの開催等により、市民のリユース意識の向上と、ゴミ減量化の取り組みPRを行います。

千円

環境課

### 拡充 24時間資源回収ボックスの試験的な追加設置

## 自然・水資源を保全する取り組みの推進

### 新規 不法投棄マップの作成

不法投棄マップを作成し地域の現状を市民に周知することで、地域による不法投棄の監視意識を高め、市民との協働による不法投棄抑止を図ります。

千円

環境課